28 de Novembro de 1920 No. 164

Noticias do Brazil

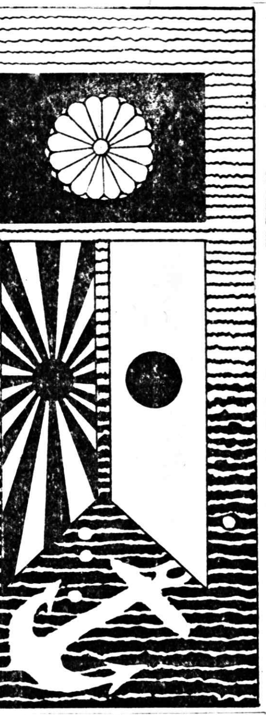
大正九年十一月廿八日　日曜日　第百六十四號

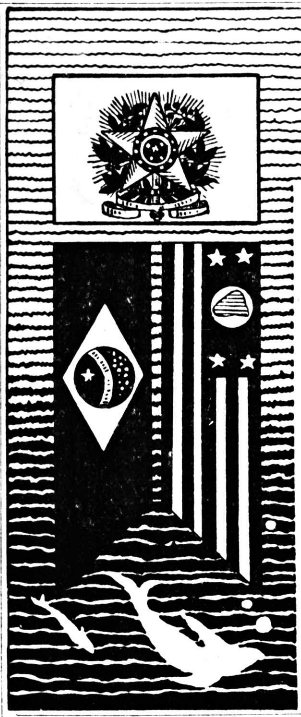
伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5696
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno 15$000
„ Semestre 8$000
„ Mez 1$500
„ Semana $500

練習艦隊歡迎





待ちに待ちたる我海軍練習艦隊は、本日無事サントスに着港す、吾人同胞の驩喜之に若くものなしである、同艦隊は武勳赫々たる淺間、磐手の兩艦より成り、少壯將官として我海軍に令名高き、舟越中將閣下を司令官とし、本年七月卒業の少尉候補生諸君を乘せ、海上の實地練習と海外諸國の現狀視察とを目的として遠洋航海の途次、當地に寄航したのであるから、其の任務から云へば、平和時代に於ける、平和擁護の士官養成に有るは云ふまでもないが、此の武裝せる帝國の軍勢が遙々當地を見舞ひ、國威を一萬二千浬の外に輝かし、以て此の地に於ける吾人の發展を、更に意義あるものに導けるは、眞に其の恩澤を大なりとして、吾人の深く感謝せざるを得ないと共に、閣下並に乘組員諸君を迎へ、長途の勞を犒ふの光榮を得たるを、誠に欣幸とする所である、但だ茲に一つ遺憾とするは、遠來の珍客たる閣下並に諸君を歡迎するに、容儀形式の甚だ貧弱なること是れであるがそは閣下並に諸君の察せらるゝが如く、吾人此の地の發展は日尚ほ淺きと、同胞の多くは内地遠隔の場所に散在し、加之も目下農事多忙の季節なるが爲め、歡迎の熱誠胸裡に溢るゝも、之を充分形に表はし得ない狀態にあるのであるから、乞ふ此の點は幾重にも寛恕せられんことを。

十年前を回顧して

外國に奮鬪して居る吾々に取り何が一等嬉しいかと云へば、故國から軍艦が來て吾々を見舞つて吳れる事だとは、在外同胞の一致する述懐であるが、此の嬉しい心理は獨り外國に居住する者達の獨占で、故國に蟄居して居る同胞には到底味ひ得ない旨味である

▲故に今回我が海軍練習艦隊の伯國寄航に就ては、其の雄姿に接すると否とを問はず『日本軍艦』來れりと云ふ事實丈にて手の舞ひ足の踏む處を知らざる程であるが、此の戀しい待焦るゝ軍艦が漸く十一年目に見へた今の嬉しさが、此の先き又何年目に逢へるかゞ取越苦勞の種となり、逢ふは別れの始めなぞ何だが情けないやうな氣持もする。

▲回顧すれば、西暦千九百八年（明治四十一年）伯國練習艦『ベンジャミン、コンスタンテ』が海軍中佐（現海軍 大將（Antonio Coutinho Gomes Pereira 氏を艦長として、其の年一月二十二日リオ、デ、ジャチイロ港を拔錨し、モンテビデオ、プンタアレナス、タルカワノ、カヤオ、ホノル、を經て横濱に向ふ途中、太平洋上日本を距つる凡千六百浬の Wakes 島に於て、日本帆船 Hokio Maru の難船生存者二十名（外の十六名は一年間の無人島生活中死亡）を救助し横濱に同伴し行き水上警察署に引渡したのであるが、此の救助は同年五月廿二、三、四の三日に亘つて行はれ同艦が横濱に入港したのが六月三日の事である

▲横濱碇泊中は東郷大將は東京一俱樂部で主客八十名の盛宴を張り艦長以下を歡待し、海軍大臣（臺灣に出張不在中）代理たる次官加藤中將主となり水交社に於てレセプションを催ふし伏見宮殿下台臨せられ、伯國代理公使『ルイス、ギマラエンス』氏亦東京ホテルに於て外務大臣其の他の官憲を招き宴會を催ふした。

▲之に對し練習艦に於ては、東郷大將を主賓として午餐會を催ふし、同大將の外、片岡、三須兩中將及び海軍次官等出席せるが、斯く歡迎に應酬せる同艦は横須賀軍港を視察したる後六月十六日横濱を拔錨し二十日長崎に至り二十四日佐世保に寄航瓜生司令長官の午餐會に招かれ、廿七日同軍港解纜、上海、香港、新嘉坡、古倫母、亞典、スエス、イスマリヤ、アレキサンドラ、チーブル、スペジヤ、ジブラルタール、ペルナムブコを經て十二月十五日にリオに歸航したのである。

▲右の返禮として我が軍艦『生駒』は西暦千九百十年（明治四十三年六月）リオ、デ、ジャチイロを訪問し、曩に難船者二十名救助の勞に對し伯國海軍に對し敬意を表し、互ひに饗宴の應酬を爲して日伯國交を厚くせるが、此の序に軍艦『生駒』は千八百七十年英國軍艦『リバプール』内に於て自及し『バイヤ』州首府英國墓地に葬られたる日本海軍士官前田十郎左衛門氏の遺骨を取り納めんとして其の當時リオ駐在の内田公使をも乘せ『バイーヤ』に發航せんとして、前田氏の墓地既に取拂ひとなりたること明かとなりたる爲め遂に此擧を中止するに至れるが

▲其の當時『ディアリオ、ダ、バイーヤ』なる新聞の揭ぐる記事に依れば『バルバライソ』を發航せる英國艦隊は千八百七十年十月六日『バイーヤ』に入港せり、該艦隊は海軍將官ホーンブレー氏司令の下に旗艦を『リバプール』とし數隻の軍艦を以て艦隊を編成したるが、其の旗艦『リバプール』に日本の青年士官二名練習の爲め乘組み居りたり、而して其の内の一人年齡二十三歳の前田氏は午前三時より四時の間に艦内に於て短刀を以て腹部を十文字に切りたる上咽喉部を數回刺し、悲慘なる自殺を遂げたり、此の事實は該艦隊乘組將士のみならず『バイーヤ』人民の深く哀悼する處にして、其の唯一の原因とも認むべきは同氏は永く其の故國と家人とに離れ望郷の想に沈める結果が憂鬱症を惹起し、遂に不幸の死を招けるに至れりと云ふ』とある。

▲顧ふに伯國と日本とは斯うした因緣に依り知り始め、漸次親善と了解とを增し遂に今日に至つたのであるが、今より十年前軍艦『生駒』が初めて日章旗を飜してリオ港に雄姿を現はした當時は、リオにもサンパウロにも日本人は極めて少なく、サンパウロよりは一二の代表者がリオに出迎へて、ホンノ驗しばかりの歡迎を爲したるに引變へ、今は在伯同胞數三萬を超へ、是より漸く發展の實を擧げんとするの矢先き、我が練習艦隊の來つて日伯親善に更に大なる力を加へたるは、吾々の歡喜實に筆舌に盡し難きである。

練習艦隊司令官
舟越中將閣下

あさま

いわて

◇軍艦淺間要目

艦種	一等巡洋艦
排水量	一〇、九三三噸
全長	四四二呎
幅	六七呎
吃水	二六呎九吋
速力	二一、七節
砲熕	二〇ミリ砲四 一五ミリ砲一四 八ミリ砲一一
發射管	四五ミリ四

◇艦歷

明治卅一年三月廿二日	進水
同　卅三年四月廿八日	海軍大演習に付天皇陛下御召艦となる
同　十月二日	北清事變の際英、獨、墺、露、伊等の聯合艦隊と共に山海關占領
自同　卅五年四月七日 至　十一月二十八日	英國皇帝陛下戴冠式並觀艦式參列の爲高砂と共に英國に派遣
同　三十六年四月十日	海軍大演習に付天皇陛下御召艦となる
同　三十七年二月九日	日露戰爭に從事仁川附近に於て露艦「ワリヤーク」「コレーツ」と會戰擊破す
同　八月十日	黄海に敵艦隊と會戰
同　卅八年五月廿七日 廿八日	日本海々戰
同　十月二十三日	凱旋觀艦式天皇陛下御召艦となる
同　四十一年十一月十八日	聯合艦隊御親閲に付天皇陛下御召艦となる
自同四十三年十月十六日 至同四十四年三月六日	笠置と共に練習艦隊として北米中米方面航海
自大正三年四月二十日 至同　年八月十一日	吾妻と共に練習艦隊として北米方面航海
九月十四日	日獨戰爭に從事、第一南遣支隊として索敵、獨領南洋諸島占領 「ホノルヽ」に於て獨艦監視
大正三年十二月一日	遣米支隊として中米南米沿岸巡視警備
四年一月三十一日	「サンバルトロメ」灣口に坐礁
五月八日	離礁
自六年十一月二十四日 至七年七月六日	磐手と共に練習艦隊として海軍少尉候補生練習の爲内地北米南洋諸島方面航海

◇軍艦磐手要目

艦種	一等巡洋艦
排水量	一〇、四九三噸
全長	四四三呎
幅	六八呎六吋
吃水	二五呎六吋
速力	二一、八節
砲熕	二〇ミリ砲四 一五ミリ砲一四 八ミリ砲七
發射管	四五ミリ四

◇艦歷

明治卅三年三月廿九日	進水
同　卅七年二月九日	日露戰爭に從事、旅順港外の戰鬪に參加
同　八月十四日	蔚山沖海戰に參加
同　卅八年五月廿七日 二十八日	日本海々戰に參加
大正三年八月二十三日	日獨戰爭に從事青島攻略に參加
自大正三年十一月九日 至同四年二月八日	南洋諸島方面策動
自大正四年十二月十六日 至同五年八月廿二日	吾妻と共に練習艦隊として海軍少尉候補生練習の爲内地南洋諸島豪洲方面航海
自大正六年十一月廿四日 至同七年七月六日	淺間と共に練習艦隊として海軍少尉候補生練習の爲内地北米南洋諸島方面航海
自同七年九月十日 至同八年九月二十四日	特務艦隊として香港新嘉坡方面策動

▲▲東西南北▼▼

◆獨逸　王政黨首領カップ失脚後其作戰運動本部をババリヤに移し露西亞、墺地利、匈牙利等の王黨と氣脈を通し獨逸帝國の復活を圖つて居る

◆世界　大戰後の疲弊より國民を救ひ出し國勢を隆昌ならしむるには君主政體に復らざる可らずと佛國議會に於て力說して居る王黨代議士あり

◆希臘　では先般の總選擧の結果首相ヴエニゼロス黨一一八に對し廢帝復位黨二五〇首相自身も亦落選の悲運に遇ひ内閣總辭職し王黨内閣成る

▲王黨　政權を握り廢帝コンスタンチノの復位を近く一般投票に問ふ事にしたが投票は形式のみ其證據には裁判の判決を廢帝の名に於て爲せり

◆大戰　中コンスタンチノ帝が稍々もすれば獨逸に傾かんとしたので親佛派をして廢位の荒療治をせしめた佛國も今は復位に反對せずと聲明す

◆露過　激派勢力挽回反過激派を片端から平げウクラニヤ及クリミヤ方面敵影を見ず西伯利に於てもセメノフ戰ひ利あらず滿洲へ逃たりと傳ふ

◆され　どペトログラドの人民過激派に飽き政府の命令行はれず强盗放火盛んにして上院又烏有に歸す恰も革命當時の無政府狀態に在りと云ふ

◆國際　聯盟本月十五日瑞西ゼ子ブに第一會議を開き四十二箇國の代表者列席大に世界平和を議す而して平和の戰士と稱する北米は不參加也

◆講和　會議で決定した獨國内の乳牛引渡しを今實行されては獨國小兒の死亡率を著るしく增加せしむべき虞ありとて獨逸猶豫を聯合國に乞ふ

◆伯國　在勤十六年今回歸國せし伊國領事アンカリニ曰く聖州のみを伯國の寶庫と思ふは誤れり聖州は工業の南リオグランデは農牧の中心也と

◆ドレ　ッドノート型軍艦の發明者として知られたる伊國海軍造船總監エトレ、コルテレッチ廿一日ゼノヴアにて逝去す彼は秘露生れの伊人也

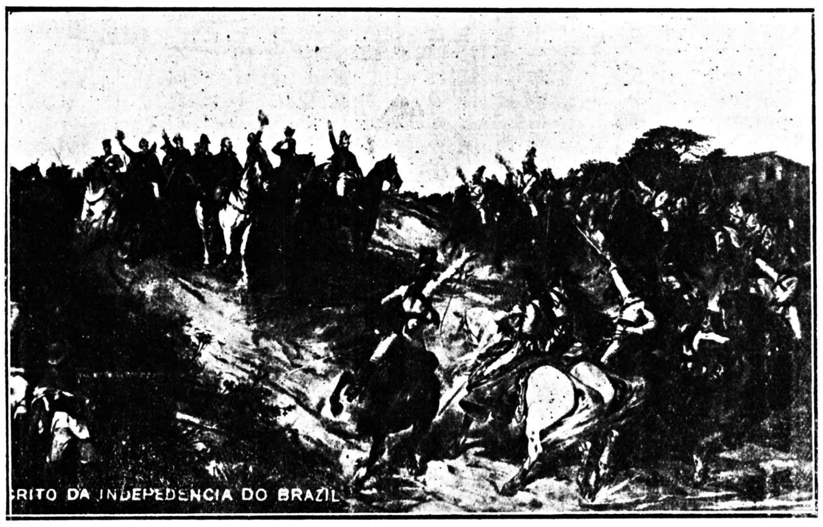
◆北米　次期大統領ハーヂング國際聯盟を慊らず思ひ別に列强首相を會して新たなる聯盟會議を催すべしとの伯林電報に對し眞面目に耳を藉す者北米政界になしと華盛頓電報云ふ

●サンパウロ州の沿革

（Resumo Historico e Geographico）

一千五百年葡萄牙朝廷は無盡藏と稱せられたる印度の金銀寶玉を握らんとして遠征隊を組織し、ペドロ、アルヴアレス、カブラルを其の長となして出發せしめた。カブラルは亞弗利加の沿岸を縫ふて航行しつゝありしが、偶々暴風雨に遭遇し航海極めて危險なりしかば、其の方向を大洋に轉じて進行せし時、偶然西方に當り陸地を瞥見したれば直ちに其處に船を寄せて上陸し、其港をポルトセグロ（安全港）と命名し數日碇泊し而して發見したる新陸地を葡萄牙國王の名によりて占領し、テーラ、デ、ヴエラ、クルス（眞十字架の地）と名づけた。後に至りサンタ、クルス（聖十字架の地）と改稱し、又ブラジルと改名したのである。カブラルが發見したる時のブラジルには百種に上る土人種族が棲息してゐた。新陸地發見の報一度リスボン王朝に達するやドン、マノエル王は發見地を探險せしめんとしてゴンサロ、コエリヨを隊長として、第一回の遠征隊を出發せしめ、又クリストヴアン、ジヤツクが率ゐたる第二回遠征隊をブラジルに向はしめた。然れどもドン、マノエル王時代に於て遠征隊の探險は豫期の效果を奏せざりしかば、ブラジルは當時の葡萄牙人より拋棄されたる姿にあつた。ドン、ジヨアン第三世が即位するに及び伯國開拓の實を擧げんとし、最初の殖民を試むべく一千五百五十年マルチンス、アフオンソ、デ、ソーザをして五艘の船を率ゐさしめてリスボンを出帆せしめたマルチンス、アフオンソはブラジル海岸を南下してラプラタ河に至り再び逆行してサンヴイセンテに上陸しサンヴイセンテ村を建設し、其後に至りピラテニンガ村を創設した。ピラテニンガは即ち現今のサンパウロ市である。一千五百三十四年ドンジヨアン第三世王は、ブラジルを世襲讓與地に分割して葡萄牙の貴族及び名望家に讓與することに決した。其の區域は甚だ漠然たるものにして海岸に沿ふて四十レーグアス、五十レーグアス或は五十レーグアス以上となしたのである。一千五百三十六年九月廿五日サンヴイセンテの讓與地を所有せしマルチンス、アフオンソは、其の部下なるブラスクーバスにジエリバテイバ地方を分與し、クーバスは鋭意其の領地の發達に勗めたのであつた。今のサントス市は即ちそれである。マルチンス、アフオンソは其の領地近傍に棲息しゐたるグアヤナゼス種族の酋長テイビリサーと友交を結び又耕作に意を用ゐ種々なる農作物の種子を母國より取り寄せ、殊に甘蔗の適當なるを認めてマデーラ島より其の苗を輸入して大に甘蔗栽培を奬勵した。一千五百九十一年に於てクーバスの支配區域は洵に進歩したるが、不幸にも彼の有名なる英國人海賊クック及びカーヴエンデツシユの襲ふ所となり殘酷なる掠奪に會ひ、又一千五百九十一年にクーバス死し其の地は一層困憊に陷いつたのである。サンヴイセンテ領地は漸次繁榮し、而かも勇敢なる其住民は深く其の領地內（現今のミナス、ジエラエス、ゴヤス及びマトグロツソ）に進入して金塊銀鑛寶石の探險を企つるに至つた。此の探險隊をバンデランテと稱し聖州人の誇となつてゐる。一千七百九年にサンヴイセンテはサント、アマロ領地と合併してサンパウロと改稱したるが其後に至り其の領地區域は次第に縮少さるゝに至つた、即ちミナス、ジエラエスは其區域より脫し、又一千七百三十八年に於てサンタカタリーナ及びリオ、グランデ、ド、スルは其羈を斷ち、一千七百四十八年に至りゴヤス及びマトグロツソ脫離し、剩さへ葡萄牙朝廷はサンパウロをリオデ、ジヤ子ーロの支配の下に置かんとせしも、サンパウロ人は之れに嚴しく反抗し遂に一千七百六十五年獨立地となり、一千八百二十年サンタカタリーナにラージエスを讓り、又其後に至りクリテイバはサンパウロより離れてパラナーとなつた。

偶々ナポレオン一世が全歐洲に其の威を逞ふし葡萄牙をも併呑せんとしたるが葡萄牙は英吉利と聯結して、之れに反抗したれば、ナポレオンは西班牙を說きて軍を出さしめ葡萄牙王を捕へんとした、西軍がリスボンに上陸せんとせし其前日に葡萄牙王ドン、ジヨアン第六世は一族郎黨を率ひ英國艦隊に援護されてブラジルに遁れ來り、リオ、デ、ジヤ子ーロに都を定め玆に帝國を建設した、爲めにブラジルの住民は其の堵に安んずるを得て諸般の事業着々進捗し、通商に教育に甚だ見るべきものがあつた。一千八百二十一年歐洲の平和克復したるによりドン、ジヨアン第六世は其皇子ドン、ペードロに位を讓りて葡萄牙本國に歸つた、其後本國とブラジルとの葛藤常に絕えず遂に本國政府はドン、ペードロを本國に呼び還さんと試みたるがドン、ペードロは其の命に服從せずして、一千八百二十二年九月七日『獨立乎死乎』の叫と共にブラジルは葡萄牙の支配を捨てゝ獨立し、又一千八百八十九年十一月十五日共和政體を宣言するに及びサンパウロは聯邦を形成する一州となつたのである。而してサンパウロ州の北はミナス、ジエラエス州に隣り、東は大西洋に面しリオ、デ、ジヤ子ーロ州に接し、南はパラナー州に續き、西はマト、グロツソ州に連なり面積二十五萬二千八百八十平方基米突を有し百九十六郡に區分されてゐる。サンパウロ州は聯邦府を除き伯國聯邦を構成する『アマゾナス』『パラー』『マラニヨン』『ピアウイー』『セアラー』『リオ、グランデ、ド、ノルテ』『パライバ』『ペルナンブーコ』『アラゴアス』『セルヂペ』『バイヤ』『エスピリト、サント』『リオ、デ、ジヤ子ーロ』『パラナ』『サンタ、カタリナ』『リオグランデ、ド、スル』『ミナス、ジエラエス』『ゴヤス』『マト、グロツソ』の十九州及び『アクレ』直轄州に比し政治上、產業上、教育上頗る優勢なる地位を占めてゐる。以上は單に聖州沿革の大要に過ぎず、若し夫れ伯國歷史を草せんとせば發見時代より筆を起し殖民時代を說き帝政時代を論じ、葡萄牙より獨立せる經緯を詳かにし共和政體を樹立するに至りたる實情を審にせざるべからず、又聖州の歷史を編むに豐富なる材料を有すれども狹隘なる紙面は詳細に亙るを許さぬのである。今左に數字を揭げ聖州に關し大體の觀念を得るの資となす。


RITO DA INDEPENDENCIA DO BRAZIL

Independencia ou Morte!

獨立か死か

こは西歷千八百二十二年九月七日「ブラジル」が「ホルトガル」とのきづなを絕ち聖市近かき「イピランガ」に於て獨立な宣言せる當日の光景（聖市博物館所藏名畫）

◆人口

一八九〇年	百三十八萬四千七百五十三人
一八九五年	百八十三萬二千百七十八人
一九〇〇年	二百二十七萬九千六百〇八人
一九〇五年	二百五十萬七千〇六十一人
一九一〇年	二百八十萬〇四百二十四人
一九一五年	三百二十七萬九千〇九十七人
一九一九年	三百七十四萬八千人

◆海運

	船舶噸數	荷物噸數
一八九〇年	一、四六四、四〇二噸	四八〇、〇四八噸
一八九五年	二、四三一、九〇三	七七一、六八四
一九〇〇年	一、七一五、八四七	七六六、九二三
一九〇五年	三、四五九、〇八八	一、〇二七、七三一
一九一〇年	七、一三四、〇四九	一、三七九、〇七〇
一九一五年	六、三四九、四〇四	一、五六七、四八四
一九一九年	五、四三七、四七七	―

◆鐵道

	延長數	荷物噸數
一八九〇年	二、三二九基米突	一、七〇〇、一七六噸
一八九五年	二、八九四	二、一五九、〇八五
一九〇〇年	三、三一五	二、三三九、九一三
一九〇五年	三、七七〇	二、九八六、五一九
一九一〇年	四、八二五	四、五八四、五四〇
一九一五年	六、二七七	六、〇八二、八三六
一九一九年	六、六一五	―

備考
▲農業（六面七面及八面參照）
▲工業（五面參照）
▲商業（四面參照）

◆石炭、鐵鋼消費高

	石炭	鐵鋼
一九〇〇年	一一一、五二一噸	五、七二七噸
一九〇五年	一三七、九九八	六、七一五
一九一〇年	二一八、二五三	一二、七〇二
一九一五年	一一五、四五六	五、四二八

◆州の收入

一八九〇年	二三、三一八、四一二コントス
一八九五年	五五、五三八、一六三
一九〇〇年	四二、六五一、二五三
一九〇五年	三二、四七二、〇三八
一九一〇年	四三、二八〇、八六九
一九一五年	七九、三一五、九三一

◆全郡の收入

一八九〇年	九、五〇〇、〇〇〇コントス
一八九五年	一一、四九五、二〇〇
一九〇〇年	一四、七七五、三二〇
一九〇五年	一七、八五二、七九〇
一九一〇年	二四、六一一、五三二
一九一五年	四二、六七二、九二五

練習艦隊歡迎

P. Machado & Co.
CASA BANCARIA
Albuquerque Lins

◆營業課目◆
一、日本其他諸外國宛送金
一、一般手形割引
一、預金は一口五十ミル以上御預り申し左の利息を附し小切手、通帳差上候

小口	當座	預金	年	三步
同	一ケ月	据置	同	四步
同	三ケ月	同	同	五步
同	六ケ月	同	同	六步
同	九ケ月	同	同	七步
同	一ケ年	同	同	八步

加奈陀ローヤル銀行代理店
ノロエステ線アルブケルケ、リンス驛
マツシヤード商會

謹テ練習艦隊ノ入港ヲ祝ス
大正九年十一月廿八日
練習艦隊歡迎團

歡迎日本海軍練習艦隊來伯
聖波羅土地材木殖民會社
ノロエステ線ビリグイ

●サンパウロ州の政治及び財政 （Politica e Finança）

伯剌西爾共和國を構成する二十州及び聯邦政府並直轄州中農に工に商に最も發達をなせるは聖州である。今聖州の政治を鳥瞰的に覗けば、州には州の憲法ありて克く自治の精神を明かにし、又立法部、行政部及び司法部の三機關は整然として政治の本源をなしてゐる。

◆立法部 （Poder Legislativo）

立法は州議會之を行ふ

一、州議會は上院下院より成る

二、議員の選擧は法律の定むる所に據る

三、同時に兩院議員たるを得ず

四、議員は他の職業に從事することを得ず

五、通常議會は毎年七月十四日を以てサンパウロ市に開會し、又議員多數投票に依り或は統領が必要と認むるときは臨時議會を召集す

下院議員は州住民四萬人中より一人の割合を以て選擧し上院議員は二十四名を以て其定員としてゐる

◆議會の權能 （Attribuiçoes do Congresso）

議會は左の權能を有す

一、法律を制定し又は停止し或は廢止す

二、州の歳入歳出を監督す

三、年々州の經費を定め收入豫算を定む

四、行政部をして借欵を起さしめ又は金融上の方法を講せしむ

五、收入の取立、計算及び其處理を正し支出を監督し又之に必要なる取扱局を設けしむ

六、毎年州の警護隊員數を定む

七、州の行政及び司法區域を設く

八、他州又は其の管轄區域をサンパウロ州に合併する場合は其の採決をなす

九、他州と政治上の協約又は條約を締結せしめ、又行政部が締結する條約に對し採決をなす

十、官吏を增員し又は減員し其職責を定め俸給を定む

十一、議員の手當及び統領、副統領並に各省長官の俸給を定む

十二、責任上の罪責を免除し又は減刑す

十三、州統領及び副統領の就任を承認し又州を不在する承認を與ふ

十四、州統領及び副統領の辭任を承認し又疾病の爲め或は憲法に定むる條項に該當する場合にして、在職不可能の時は其失職を公にす

十五、聯邦及び州憲法及び諸法律の有効なる實施を監視す

十六、聯邦憲法の改正案を聯邦議會に提出す

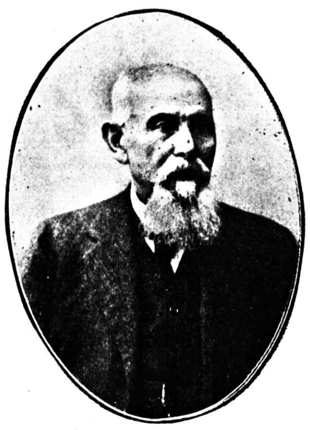
十七、聯邦憲法第三章第六項に據る場合は聯邦政府の干渉を要求す

十八、左の法律を制定す

（一）裁判所構成法及訴訟手續
（二）行政及び警察
（三）州の警護隊組織
（四）租稅法
（五）選擧法
（六）郡施政法
（七）懲治監法
（八）官吏の休暇及賜暇
（九）衛生
（十）公衆救護班
（十一）州の能力範圍に於る農、工、商
（十二）移民及植民
（十三）統計
（十四）未開墾地、公有地、州有河川及び州管轄區域にある鑛脈
（十五）土木、鐵道、運河及河川運輸
（十六）州の所有財産
（十七）必要上州又は郡の所有物を沒收し有用す
（十八）初等、中等、高等教育及技藝教育殊に初等教育は無料とし一般的たらしめ義務的となさしむ
（十九）郵便、電信及び電話

大藏長官
アルヴアロ　アゼヴエード氏

農商工務長官
エートル　ペンテアード氏


副統領
ヴイルジリオ
ロドリーゲス　アルヴエス氏

內務長官
アラリコ　ジルヴエーラ氏

司法長官
カルドーゾ　リベーロ氏

◆行政部 （Poder Executivo）

行政は統領之を行ふ。統領欠員し或は故障の爲め在職不可能の場合は副統領之に代はり、副統領欠員若くは故障あるときは

一、上院議長
二、下院議長
三、上院副議長
四、下院副議長

順次之に代はる。州統領及副統領たる者は三十五歳以上の男子にして公民權を有し選擧前五ヶ年間州內に住居するを要し、統領及び副統領の任期を四ヶ年とし次期に於て再び其職に就くことを得ずと定め、又大統領及び副統領は四ヶ年の最後の日に於て其後任者に業務の引繼をなす。但し新選州統領及び副統領が就任すべき日より三十日を經過し、猶着任せずして議會が其失職を決議したる場合は此の限りにあらずと定めてある。州統領及び副統領は就任すると同時に議會に於て左の宣誓をなす。『聯邦及び州憲法を遵奉し法律の命ずる所に從ひ愛國心と誠意とを以て余の職責を遂行することを茲に宣誓す』。州統領及び副統領は州議會の承認を經ずして州を不在し又は聯邦政府の官吏たることを承諾したるときは其の職を失ふ。但し疾病の場合或は職務上三十日以內の不在は此の限りにあらずとしてある。統領及び副統領は前任者の在職中議會が決議せる俸給を受け、又副統領は四ヶ年の任期間は其の職以外の職或は他の公吏たることを得ず。而して統領が告發されたる場合にして普通罪の時は下院の決議を待ち、責任上の告發に對しては上院の決議を經て控訴院の審判に附せられ、告發の手續を公けにしたる時より其職務を停止され、副統領も亦之に同じき制裁を受けるのである。

◆各省長官 （Secretarios de Estado）

各省長官は統領を補佐し各省の業務を總攬し年々詳細なる業務報告を統領に提出するの責任がある。各長官は州議會に臨席する權利を有せず總て書類を以て議會に通告し、又必要ある場合に限り議會調査委員會に出席するを得と定められてゐる。而して現今州には內務、農工商土木、司法警務及び大藏の四省がある。

◆司法部 （Poder Judiciario）

司法部は法律の定むる所の裁判官をして之に當らしむ。聖州は其の管轄區域に住居する伯國人及び外國人に對し聯邦憲法が與ふる權利を尊重し而して之れを保證してゐるのである。

◆財政 （Finança）

歐洲大戰は州の輸出に大なる影響を及ぼし輸出の減額を來たさしめしも機に應じて政府が採りたる處置甚だ宜しきを得たるが爲め、總收入に於て著しき差額を生ぜなかつた。千九百十九年の通常收入豫算は七萬六百七十四コントス、デ、レースなりしが其の實收入は八萬八千七百二十四コントス四百七十六ミル六百七十七レースに達し、實質に於て一萬八千五十コントス四百七十六ミル六百七十七レースの增額を見るに至つた。然るに特別收入は豫算二萬四千六百九十五コントスデレースなりしに、其納入は五千五百十コントス三百九十六ミル八百三十八レースに過ぎなかつた。こは同年度に於て政府の所有に係かる珈琲全部賣却濟の運に至らざりし故にして總收入豫算九萬五千三百六十九コントス七百ミルレースに對し、實收入九萬四千二百三十四コントス八百七十三ミル五百五十五レースなりしを以て、其の差一千百三十四コントス八百二十六ミル四百八十五レースを生じたのである。支出豫算は十萬八千百七コントス五百五十七ミル二百十レースなりしも支出總額十萬二千八百十七コントス九百八十三ミル四十レースに達し即ち

	豫算（ミル）	支出（ミル）
內務	二七、六三三、二八一、三〇〇	二七、三五〇、〇五四、一〇七
司法	二七、二一〇、五七五、二二九	二七、一〇九、九五三、七〇七
農商務	二三、七〇三、三五四、五二〇	二一、七八二、七三四、三四九
大藏	二九、五七一、四四四、一七一	二六、五七五、二四〇、八七七
計	一〇八、一〇七、五五五、二一〇	一〇二、八一七、九八三、〇四〇

にして豫算より五千二百八十九コントス五百七十二ミル百七十レースの減額を告げしが、總收入に比し八千五百八十三コントス百九ミル五百二十五レースの超過を來した。之れ流行感冒救護費、伯國百年紀念祭準備費、グアルリヨス輕便鐵道布設費及び懲治監新築費、獸醫研究所新設、損害賠償支拂等特別支出を要したるが爲めである。

練習艦隊ノ
來伯ヲ祝ス
蜂谷兄弟商會
リオ、デ、ジヤ子イロ市

練習艦隊歡迎
醬油
神印
サントス港
釀造元　神田榮太郎
郵函一一八二番

サンパウロ州の商業 (Commercio)

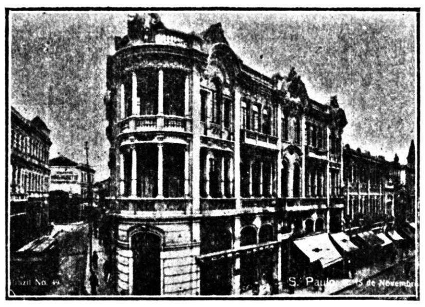
農業の進歩工業の發達は聖州商業の隆盛を來らしめたる二大原因である、一千八百九十五年には一千八百九十年に比し輸入既に二倍し、一千九百一年以後輸出は二倍となつた、一千短期間に如斯商業的向上をなしたる例他國には尠いのである、一千九百二年より一千九百五年に至る間輸出入は經濟界の恐慌に伴はれて最も銷沈したる狀態にありしも一千九百六年以來商業は其活動を復興した、一千九百十四年世界は混亂し歐洲の蒼空は砲煙の蔽ふ所となり血は地に迸り諸國は孜々として彈藥の製造を開始したる時より白鳩月桂樹に群りて平和を謳ふに至りたる五年間聖州の商業は不振の極に達しゐたるが講和成り世界は泰平の春を迎ふるに及び聖州の商業は再び順境に入り現今に於ては伯國の商覇をリオ市と角逐するの盛況にあるのである。一千八百九十年より一千九百十五年に至る五年毎のサントス港輸出入價格及び其最近統計を捉へ來りて其變遷を明かにすれば左表の如くとなる。

年次	輸入 紙幣（ミル）	輸入 金貨（ポンド）	輸出 紙幣（ミル）	輸出 金貨（ポンド）
一八九〇年	三三,六三六,七五三	二,一八六,三三七	一四三,二四四,〇九八	一三,四二九,九七二
一八九五年	七三,四三三,四七九	二,九七七,九八〇	二七九,六二五,八五四	一一,五〇五,四〇四
一九〇〇年	七六,八一六,八三九	三,三四一,一六八	二六四,〇九九,八一七	一一,七四六,五六八
一九〇五年	七六,三七二,九五九	五,一五一,四九四	二三〇,二三〇,四六九	一四,五四九,五一〇
一九一〇年	一四一,七九九,九一九	九,〇四七,七六〇	二八二,一四一,六〇二	一九,七四五,四七四
一九一五年	一五六,八八六,八一六	八,〇八五,二六八	四六五,二二二,九〇四	二四,一四七,三二四
一九一六年	二三五,五七二,〇一三	一〇,七二八,一二六	四八九,六三三,四〇五	二四,一三三,四六五
一九一七年	三三七,五四六,八七七	一三,一一七,四九五	四三三,三三四,五二二	二三,一八一,三三五
一九一八年	二三七,六九九,六〇九	一三,七五六,五一〇	三七一,四四六,四〇三	二〇,〇〇五,三六五
一九一九年	三八一,〇一四,七九〇	二三,二九七,八九五	一,〇八七,四八七,一〇一	六四,四五七,八六九

▼備考
一ミルレースは邦貨約三十三錢に當る（十一月廿四日相場）
一コントは一千ミルレースを云ふ

伯國有數の商港たるサントス港は對外貿易上最も重且つ大なる經濟的地位を占めてゐる、一千八百九十三年より一千八百九十七年に至る五年間に於けるサントス港輸入額は伯國總輸入額の一割七分一に當り又一千九百三年より一千九百七年の間には其の比率は一割八分五となり、一千九百八年より同十二年には二割一分四に上り又サントス港の輸出額は一千八百九十三年より一千八百九十七年に至る伯國輸出總額の三割三分六を占め一千九百三年より一千九百七年には三割五分四に達し而して一千九百八年より一千九百十二年に至る間に四割一分四となつたのである、一千九百十三年より一千九百十七年に至りては輸入二割五分五、輸出四割四分八、更らに一千九百十九年には輸入二割八分五となり輸出四割九分五となつた、即ち伯國總輸出の半額は實にサントス港を經るのである最近二年間に輸入したる重なる商品及び其價格は次の如である。

商品	價格（紙幣） 一九一八年（ミル）	一九一九年（ミル）
綿及其製品	一〇,〇四四,四二八	七,二五〇,九二六
鋼鐵及其製作品	一四,一三三,七一九	四一,七四五,三三五
工業機械	三,三〇五,三三五	四,五七三,一五四
農業機械	三五九,四二〇	一,九八七,四三六
其他の機械器具及什器	二,三八一,六四七	三三,四〇一,〇七五
化學工業品、藥材藥劑及化粧品	二,一〇〇,〇五四	三,七〇九,一九三
製革、製皮及其製作品	七,二七〇,〇七六	一〇,六八九,一五八
ジユツタ糸	一六九,七九三	八七六,六五三
ジユツタ原料	三,四七〇,九〇七	二八,三三七,五五四
石炭	五,四三五,四四六	五,八九六,二四六
石油	二,一〇三,二六二	一〇,六二三,〇三三
干鱈	一,一六九,六二七	二,二五〇,九一四
麥粉	二六,六三六,七五三	二七,四一七,五〇二
麥	二八,七七六,七九六	三,四〇一,一一四
上中葡萄酒	二,四三五,六四五	一三,〇〇九,四一三
種々食料用製品	二,一二六,五三七	一五,三四八,一四九
硬貨及銀行手形	―	一三七,五〇〇



聖市商業の中心街キンゼ　デ　ノヴエンブロ

又最近五年間に於ける重なる輸入品の數量を揭ぐ。

商品	數量（單位基） 一九一五年	一九一六年	一九一七年	一九一八年	一九一九年
ジユツタ	三,二〇〇,〇七九	一四,八六六,九二三	一七,七四〇,三〇一	九,〇四〇,九二三	三,九九五,四四八
石炭	一二五,四五六,〇九〇	九八,一一四,八三三	九二,二四二,四二〇	四三,九九八,一六九	三六,四一〇,〇〇〇
セメント	四七,三三九,四三八	四九,四六一,七四六	三三,三三九,三三六	八,〇〇五,〇七九	三六,五五六,〇〇〇
レール	二,六一七,七九二	五,五八九,一二三	一,八一九,二四〇	一〇〇,六六五	一,三三〇,三三九
石油	二〇,三七七,九九八	二〇,〇三八,五五五	一五,三三三,二〇一	四,九七八,八〇〇	二四,〇二九,六九八
干鱈	四,一〇五,四〇〇	二,一〇〇,二三六	一,六〇三,七三七	八〇三,一〇六	一,三三三,六三四
馬鈴薯	八〇四,二〇一	五〇四,九六三	二,六〇〇	―	二九,七六〇
麥粉	一五,六二〇,四一五	二,四三五,五〇三	二九,三七八,八〇六	四三,八三七,一九八	七六,五四三,一六四
麥	一四二,九〇七,三九六	一一七,二四九,八二四	六六,八八三,九三三	一二四,〇〇一,三六一	九六,三三三,七三八
葡萄酒	一七,九二六,四五九	一五,一一三,九九五	一〇,五七八,九六八	一〇,六四四,六三三	一〇,三〇六,五九五

歐洲戰亂は伯國貿易に至大なる影響を及ぼし表中に示すが如く輸入商品の數量を減少せしめ內國產を以て其の欠を補はしむるに至つた、例令ば石炭の如き、汽鑵燃料に薪を以て代用し、又瓦斯原料拂底の爲め燈火には熾かんに電氣を應用することゝなつた。輸出に關しては左表の如くである、價格はサントフ船渡相場を基礎として起算したのである。

商品	數量 一九一八年（キロ）	一九一九年（キロ）	價格（紙幣） 一九一八年（ミル）	一九一九年（ミル）
鳳梨	一三九,三五一	二六,七七九	一九,七七六,〇〇〇	一八,〇三五,〇〇〇
米	五,三八七,一四九	八,八四三,五八〇	四,一〇〇,六六一,〇〇〇	七,〇三六,三九九,〇〇〇
豚脂	二,四〇二,二〇〇	六,五四一,七一三	四,四五四,四五六,〇〇〇	一三,三九九,三三六,〇〇〇
護謨	六八,三三〇	三三三	三三六,〇〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
冷藏肉	三,六五四,八六八	三,〇三三,七七六	三,七七七,四〇四,〇〇〇	三五,六六六,四八〇,〇〇〇
鑵詰肉	二,七九一,一八一	二,八〇七,七四五	五,三三三,八五五,〇〇〇	六,六六三,五五三,〇〇〇
製皮	三,七〇八,五六六	四,七九五,五一八	五,九二七,〇三三,〇〇〇	九,三三三,一〇七,〇〇〇
製粉	二四,三三六,一五八	一七,三二九,六九五	九,四二七,四五〇,〇〇〇	六,三二〇,〇五六,〇〇〇
豆	五四,七四九,一一三	四五,八九六,三八四	二四,三六四,七三六,〇〇〇	一七,〇九四,六三四,〇〇〇
製油果實	二,八四七,六八五	二五,六六七,一五〇	二,六三三,一二三,〇〇〇	一〇,九九六,八五三,〇〇〇
玉蜀黍	四,三六六,〇〇〇	六,〇〇〇	八二八,九〇〇,〇〇〇	一,三八〇,〇〇〇
植物油	二,一九四,〇〇八	二,八七六,〇二三	五,二〇九,二八四,〇〇〇	五,五三五,七三一,〇〇〇
バナナ	一,六五九,九六六（フサ）	一,七九六,〇一六（フサ）	一,六九九,九六六,〇〇〇	一,七九六,〇一六,〇〇〇
珈琲	五,三九〇,九一三（サツコス）	九,四二六,三三五（サツコス）	三六八,一六八,六〇九,〇〇〇	九四六,五三六,六七一,〇〇〇
其他	―	―	六,三〇一,一六〇,〇〇〇	二七,四四八,七三二,〇〇〇
計	―	―	三七一,四四六,四〇三,〇〇〇	一,〇八七,四八七,一〇一,〇〇〇

猶輸入元國別及び其價格並に輸出先國別及び其價格を明かにす。

▲輸入

輸入元國別	一九〇〇年（ミル）	一九〇五年（ミル）	一九一〇年（ミル）	一九一五年（ミル）
獨逸	一二,二二八,九二〇	一一,五六六,五五一	二四,四四九,五六六	三,一二〇,〇五五
亞兒然丁	八,五〇二,八四一	一三,八一三,六九五	二二,三四三,〇九六	三,〇四八,九一一
墺地利匈牙利	六一,九五六	一,一二三,三四〇	二,〇四五,三六二	一九八,二九五
英吉利	二二,七一三,〇一三	一八,〇六五,一三五	三九,六八〇,五九一	二八,三五〇,〇八五
白耳義	三,一〇五,六四〇	四,三三四,五七二	五,八一三,一九五	二七一,四四三
丁抹	―	―	一二五,三〇二	一,六六四,三七六
北米	八,一四〇,一八二	六,六七四,八六九	一四,五九〇,四〇七	四二,四二九,四三九
佛蘭西	三,六八〇,九〇四	五,二二八,八四八	一二,七九八,四六七	六,三二一,七九七
西班牙	一,五〇〇,七一二	四七六,五四一	一,三七三,一四九	三,〇八三,七一六
和蘭	二八,四五七	二六六,〇五八	六二〇,三八三	九一五,八〇〇
伊太利	八,七一一,八〇八	八,五六〇,六七〇	三,二七五,五九四	一六,六二九,〇六七
諾威	―	―	八七一,二七六	二,四九六,二二八
葡萄牙	四,三九三,二七二	四,三三〇,〇〇七	五,八七九,一一〇	六,三七三,五五四
瑞典	―	九四四,七九三	六六六,九〇九	一,三五五,八六八
其他	五,六三六,九一四	三,九七七,九一六	六,九七九,二四〇	三,六五八,一八〇
計	七六,八一六,八三九	七六,三七二,九五九	一四一,七九九,九一九	一五六,八八六,八一六

▲輸出

輸出先國別	一九〇〇年（ミル）	一九〇五年（ミル）	一九一〇年（ミル）	一九一五年（ミル）
獨逸	六八,八九〇,七九七	五一,三四九,八七三	四四,三三一,四八三	―
亞兒然丁	九三,六三三	二,二七〇,六一四	四,七三七,五八一	七,五〇九,五二一
墺地利匈牙利	二,五三九,二九一	一六,九三六,四四四	一九,五六八,八〇五	―
英吉利	二,八四五,五九八	四,九一七,五六四	七,六七五,八六六	一七,五二九,二八七
白耳義	三,八三二,四〇〇	八,三三三,五二一	九,一七八,八三七	―
丁抹	二,九一六,四二七	―	一九八,七五二	一二,七三三,七六九
北米	九三,七四二,七四六	九四,八七四,九一〇	一三三,五五七,一六五	二二四,三九二,三四六
佛蘭西	一八,七五〇,八八一	一二,八九四,三〇〇	一六,八七二,一六四	五七,六二四,八一六
西班牙	二七三,六一五	―	二,七七七,九〇二	三,四五一,〇四八
和蘭	三四,八一四,六四六	一八,九六一,八五四	四三,八五四,四二六	五〇,九七五,六六四
伊太利	五,三六五,五八六	三,九二〇,六九三	三,七一八,〇七七	二二,一一六,八二八
諾威	―	―	三五一,三四一	四七,八五四,〇二九
葡萄牙	一,七二〇	―	一三,一五〇	一四七,一一四
瑞典	―	―	三,四三〇,五六九	五五,六〇五,五五九
其他	二,〇三三,四七七	―	六,九一八,六〇二	五,一二四,四三七
計	二六四,〇九九,八一七	二二四,四二八,七四三	二八二,一四一,六〇二	四六五,二二二,九〇四

而して最近二年間の對外貿易成績を閱すれば

國別	輸入 一九一八年（ミル）	輸入 一九一九年（ミル）	輸出 一九一八年（ミル）	輸出 一九一九年（ミル）
獨逸	―	八一〇,八七六,〇〇〇	―	四一,三三七,〇五六,〇〇〇
亞兒然丁	六七,七七九,一五四,〇〇〇	七四,三六五,六九三,〇〇〇	二九,〇一〇,五〇七,〇〇〇	六,二〇〇,三三五,〇〇〇
墺地利匈牙利	―	―	二,四三五,六二五,〇〇〇	―
英吉利	四七,三二八,五〇六,〇〇〇	五三,二六三,一八八,〇〇〇	二,五七一,五八四,〇〇〇	三,八二〇,一四六,〇〇〇
白耳義	―	四一八,二四一,〇〇〇	五,七七九,五五五,〇〇〇	五一,一九六,一八五,〇〇〇
丁抹	―	―	一,七九〇,四〇二,〇〇〇	[illegible]
北米	七三,三三三,七四八,〇〇〇	一六三,九五四,〇三六,〇〇〇	一六八,八八九,六二六,〇〇〇	[illegible]
佛蘭西	一一,〇七三,九六三,〇〇〇	一二,三九〇,八二五,〇〇〇	三三,三五一,四五六,〇〇〇	[illegible]
西班牙	―	―	八,三六九,四二二,〇〇〇	[illegible]
和蘭	―	―	―	[illegible]
伊太利	一三,七三五,六六一,〇〇〇	二,八〇九,七三三,〇〇〇	六八,八二三,八三五,〇〇〇	[illegible]
諾威	―	―	五,一七七,七六〇,〇〇〇	[illegible]
葡萄牙	九,九六六,三五九,〇〇〇	一〇,六六三,一六五,〇〇〇	―	[illegible]
瑞典	―	―	四,三四二,六六四,〇〇〇	[illegible]
其他	三五,五五九,〇三八,〇〇〇	五四,三三九,〇三三,〇〇〇	二,九一四,八九四,〇〇〇	[illegible]
計	二三七,六九九,六〇九,〇〇〇	三六一,二〇四,七九〇,〇〇〇	三七一,四四六,四〇三,〇〇〇	一,〇八七,四八七,一〇一,〇〇〇

の如くである則ち一千九百十九年のサントス港貿易は輸入三十八萬一千〇十四コントス七百九十ミルレースにして輸出は百八萬七千四百六十六コントス百一ミルレースに達した、之れを一千九百十五年の輸出入額に比較せば輸入に於て二十二萬四千百二十七コントス九百七十四ミルレースの增加を見、輸出に於て六十二萬二千二百五十三コントス百九十七ミルレースの增額を來たした、又一千九百十九年に於ける輸出は輸入總額三十八萬一千〇十四コントス七百九十ミルレースに對し七十萬六千四百五十一コントス三百十一ミルレースの超過を現出するに至つたのである輸出品中年々第一位を占むるは珈琲である、實に珈琲は伯國の富源たり聖州の金鑵である、今一千九百九年より同十八年に至る其輸出高を明確にせば左表の通りとなる。

Vista geral da Estaçao da Luz S. P. R. S. Paulo.

聖市の門戸「ルス」停車場

年次	俵數	價格 紙幣（コントス ミル）	價格 磅（ポンド）
一九〇九年	一三,四五三,一〇四	四二九,三三三,三三四	二六,九一三,八六二
一〇年	六,八三四,七三三	二七八,五四三,一五七	一九,五〇六,三三三
一一年	八,七一九,七四三	四七七,六六三,三二九	三一,八七七,三三六
一二年	八,九三四,七一九	三二七,五一一,八四三	三五,一六七,四六六
一三年	一〇,三三九,二四五	四八七,九九九,六六二	三五,五五三,三二一
一四年	八,四九三,五五七	三五〇,〇九四,〇〇九	二二,三八七,一三六
一五年	一三,一一九,七四一	四四三,六九八,七一五	二五,五六一,五五四
一六年	九,九四三,一五八	四四六,七四九,七四〇	二一,七一〇,七三三
一七年	七,八四五,〇〇九	三三六,七六三,七〇〇	一七,六〇五,三三三
一八年	五,三九〇,九一三	三六八,三八三,六〇〇	一四,四八九,五九五

歐洲大戰は商品の輸送を攪亂し船腹の拂底は夥しく輸出を減少せしめたるが一千九百十九年に至り大に恢復するに至つた、以上述べ來りたる外聖州對南洲貿易又甚だ見るべきものあるも限りある紙面は奈何せん其の實情を審かにするを許さず之れ洵に遺憾とする所である。

練習艦隊歡迎
中山旅館
中山忠太郎
コンデ街六九番

練習艦隊ノ來伯ヲ祝ス
上地旅館
上地彌藏
ボニータ街十一番

練習艦隊歡迎
廣島屋旅館
小川源右衛門
コンデ街五三番

●サンパウロ州の工業

（Industrias）

帝政を覆へし、一千八百八十九年十一月十五日共和政體を樹立してより八年間は、資本豐富なりしと職工充員せしとに由り州の工業は迅速なる發達を遂げ、工場數は頓みに激増したるが、一千八百九十七年より一千九百年に至る經濟界の波瀾は工業に至大なる影響を及ぼし、會社は破産し工場を閉鎖するの悲運に惱みしもの甚だ多かつたのである。茲於中央政府は内地工業を保護し、其の頽勢を挽回せんが爲め關税を改正して外國輸入品に重税を課するに至りたる結果、一千九百年以後州の工業は再び勃興し、紡績、製靴、麥酒釀造及製粉等顯著なる進歩をなし、州内の需要を滿たすの外他州へ輸出するの優勢なる地位を贏ち得たのである。一千九百年より一千九百十八年に至る製品價格を掲れば次の如くである

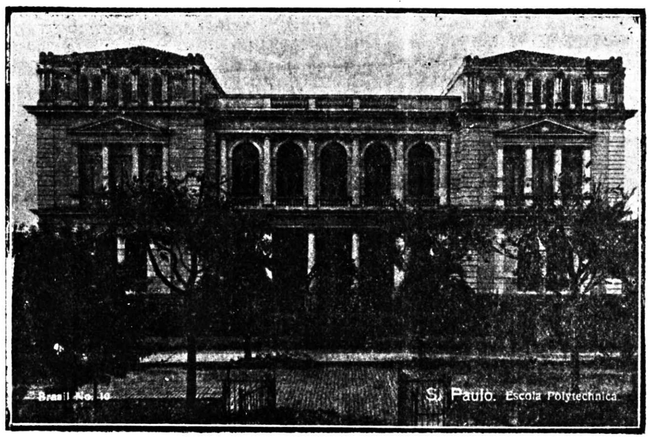
年次	價格（ミル）
一九〇〇年	六九、七五二、〇〇〇
一九〇五年	一一〇、二九〇、四〇〇
一九一〇年	一八九、三七〇、〇〇〇
一九一一年	二一〇、八八五、〇〇〇
一九一二年	二五三、七四九、二五六
一九一三年	二三三、〇一一、七一三
一九一四年	二二二、三三一、七三〇
一九一五年	二七四、一四七、七二二
一九一六年	三五八、九一一、九六八
一九一七年	五六三、三八一、八五一
一九一八年	五五六、八〇一、一〇〇

一千九百十五年州商工務局の調査に依れば州内に存在せし工場數は大小併せて六千九百十二なるが其の重要なるものを左表に區別すれば

紡績及羊毛	六四	リボン	八
綿糸絹糸靴下	二一	綿糸羊毛シャツ	二〇
手袋	四	男女帽子	二六九
食料揑粉	二一六	ビスケット	一〇三
菓子	一七四	罐詰	二七
麥粉及澱粉	二三一	雜穀精製	五四一
麥酒	二七〇	飲料	二〇〇
家具及裝飾品	二〇四	馬具	二四八
製皮	七八	鐵銅鑄造	六二
鐵道用品製作	一八	農具	六五
車輛	三八三	土管、瓦及煉瓦	九七二
靴（靴直し又は靴製造並直し業を含まず）	六六		

等にして聖州の工業は新開展をなして漸次輸入品を市場より驅逐し、又歐洲大戰勃發以來外國品の輸入殆んど杜絶の境に入るに及びて内地工業は頗る盛大となり、各種の製造工場は急遽として新設さるゝに至つたのである。一千九百十五年より同十七年に至る間に、聖市商業會議所に登記をなしたる新工場は其數三百二十三に達し、其の資本額は一萬四千八十七コントス六百二十四ミルレースであつた。此等の内尤も注目を要すべきは機械用製油三、化學製品一七、脱脂綿一、雲母加工三、等である左に一表を掲げ州工業製品の歴史的經路を示して其發達の速度を洞察し得るの便となす。

年次	紡績（メートルス）	靴（足）	帽子（個）	麥酒（リツトルス）
一九〇〇年	三、五〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇	一、〇六〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
一九〇五年	三六、六四六、〇〇〇	一、九八〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	一四、二〇〇、〇〇〇
一九一〇年	七五、八三三、四七〇	三、六〇八、二八七	二、三七三、五六七	一八、九七三、五一九
一九一五年	一三一、五八九、七三八	四、八六五、〇三一	二、四七七、三三三	二七、九九九、三六〇
一九一七年	一六〇、二五四、一三九	六、八〇六、八〇四	二、六三三、七九四	一八、八三五、九八七
一九一八年	一四七、〇七三、一九一	六、九六九、八三三	二、三八二、九三八	二二、二九七、五七四



年々多數の人材を聖州工業界に送り出しつゝある

サンパウロ州立工科大學

聖州工業中最も重要なるは紡績にして最近十有餘年間に於て多大なる發展をなし、工場の増設と共に職工及び資本の増加を來たしたるは次表に據り明かとなる。

年次	工場數	職工數	資本額（ミル）
一九〇五年	一八	六、二九八	二七、五七八、二九〇、〇〇〇
一九一〇年	二四	一三、三九六	四六、六三三、八一五、〇〇〇
一九一五年	四一	一七、九七八	八一、四五五、四二二、八四五
一九一六年	四四	二二、三二六	八八、四一八、八二一、〇五五
一九一七年	四六	二二、八一二	九五、四七五、三三四、二六九

更らに紡績製品尺數及び價格を表はせば次の如き數字を得るのである。

年次	尺數（メートルス）	價格（ミル）
一九〇五年	三六、六四六、〇〇〇	一九、六六八、四六六、〇〇〇
一九一〇年	七五、八三三、四七〇	三八、七四七、六六六、〇〇〇
一九一五年	一三一、五八九、七三八	五八、九六八、八七四、〇五〇
一九一七年	一六〇、二五四、一三九	一八三、八一八、〇八一、一〇〇
一九一八年	一四七、〇七三、一九一	一六一、四九八、四九九、六五〇

一千九百十七年州内の紡績は二萬二千八百十二人の職工を使役し、織機一萬四千五百三十六臺、紡錘四十二萬九千四百九十九個を有して電力二萬二千四百八十六馬力を消費し又水力四百六十六馬力、蒸汽九十七馬力を消耗したのである。羊毛織物工場は十二を數へ、資本三千八百七十コントスを有し、カジミラ地、フランチル、毛布等を製産し其價格は一萬六千八百四十三コントスに上り、ジユッタ工場は其數四にして資本二萬九千百五十コントスを藏し、年々約四千萬メートルス（敷物其他の製品を含まず）を製織してゐる。既往に於ては外國より原料一切を輸入しゐたるも、近時に至り重に内國産の植物纖維を利用し、或はジユッタと混用することゝなつたのである。

絹布工場の數は現今六ケ所ありて資本一千三百コントスを擁し年々約二千七百五十コントスの製品を市場に齎らしてゐる。靴製造業は洵に盛んである一千九百十八年には大規模の製靴工場二十九、職工十二人以下を使用するもの二千五十二存在し、一年間に編上げ、短靴、上靴を合して六百九十六萬九千八百三十三足を製造し、其價格は五萬二千八百二コントス五十五ミルレースに達し、又他州への輸出は一萬九千六百二十六コントス、デ、レ！スの巨額に及んだのである。

帽子製造業も亦甚だ發達し其製作頗る精巧となり歐洲品を凌駕するに至つた。製帽工場の重なるものは其數二十八あり、又小規模に屬するもの約二百ありて男女及小兒用帽子製造に從事してゐる。一千九百十八年に於ては氈帽、麥藁帽を合し二百三十八萬二千九百三十八個を製造し、又同年七千八百七十四コントスの輸出をなしたのである。

飲料製品中尤も重要なる地位を占むるは麥酒である。其釀造に從事する工場は第一級に屬するもの百四十八、第二級に入るもの百六十三、第三級に列するもの九百九十二あり。

又製皮工場は州内に大小七十八を算へ、年々約二十五萬枚を製皮して靴、馬具及び鞄製造者に供給をなしてゐる。

其他ビスケット、罐詰、製菓並に農具、家具、玻璃、製紙、製綱、麻糸等孰れも州工業が大をなすに至りたる要素をなしてゐるのである。

一千九百十七年及び同十八年に於ける聖州製造品の數量及び價格を擧ぐれば左の通りである。

製品種別	數量 一九一七年	數量 一九一八年	價格 一九一七年（コントス ミルレース）	價格 一九一八年（コントス ミルレース）
諸織物	—	—	二七五、三三五、三四三、九〇〇	三五三、二〇九、〇二六、六五〇
衣服	—	—	三、三一七、二一〇、四五〇	三、六四六、五七八、四五〇
帽子	二、六六三、七九四ケ	二、三八二、九三八ケ	一五、五三三、二五四、〇〇〇	一六、八一八、〇〇七、〇〇〇
雨傘及日傘	一四〇、〇三七本	一三八、〇八八本	一、〇〇六、五五九、〇〇〇	九九一、一四三、〇〇〇
靴	六、八〇六、八〇四足	六、九六九、八三三足	四八、四八二、四一八、〇〇〇	五二、八〇二、〇五五、〇〇〇
飲料	—	—	二五、〇〇九、七四九、五五〇	二六、四〇一、九三二、四〇〇
酢	一、七二四、五〇九リツトルス	一、七三二、五三一リツトルス	三四二、九〇一、八〇〇	三四六、三〇六、二〇〇
砂糖漬及びビスケット	一、三六五、九一四キロ	二、四八三、一四四キロ	三、六〇六、八三三、四〇〇	三、八三九、四一三、〇〇〇
藥品其他	一、一三三、五四二ケ	一、六七一、三四七ケ	二、四八一、七三三、七七一	三、七三〇、〇六八、九四八
化粧品	五、七三五、二八七	四、六一六、五〇四	三、九三七、五〇六、〇四五	二、九七四、三五一、四四八
燐寸	二四、五九九、三三三	二五、六三三、四七〇	五、七二九、九六一、六六五	五、七六一、六七三、五〇〇
煙草及附屬品	—	—	一、三九七、七三〇、二〇〇	九、六三三、七九五、八四〇
蠟燭	三一七、三二〇キロ	四三五、一一三キロ	六三四、六四八、〇〇〇	九〇六、三三六、〇〇〇
鐵器	二、七四七、四五三	二、一三一、五七九	三、二三六、八六九、三〇〇	三、三〇六、一三三、〇〇〇
コップ類	一、〇五四、五一八ケ	一、一九六、五八一ケ	一、六〇〇、五三三、七〇〇	一、八六二、九三九、五〇〇
其他	—	—	一六一、七二八、六一八、二三四	一六〇、六五三、四三三、四〇〇
計	—	—	五六三、三八一、八五一、三七二	五五六、八〇一、一〇〇、三七二

▲織物

年次	紡績 尺數（メートルス）	紡績 價格（コントス ミルレース）	毛織 尺數（メートルス）	毛織 價格（コントス ミルレース）
一九一五年	一三一、五八九、七三八	五八、九六八、八七三、〇〇〇	六一六、七三三	三、九四七、六六〇、〇〇〇
一九一六年	一三四、六五〇、六三九	九七、七六一、一六九、七〇〇	一、一〇四、四六三	九、三九一、四八六、〇〇〇
一九一七年	一六〇、二五四、一三九	一八三、八一八、〇八一、一〇〇	一、三一七、三三七	一五、六七三、六九九、〇〇〇
一九一八年	一四七、〇七三、一九一	一六一、四九八、四九九、六五〇	一、四六九、七〇四	一六、八四三、二〇五、〇〇〇

▲同上

年次	ジユッタ 尺數（メートルス）	ジユッタ 價格（コントス ミルレース）	毛布、ショール及び寝臺上敷 枚數（マイ）	毛布、ショール及び寝臺上敷 價格（コントス ミルレース）
一九一五年	三三、四六二、八〇五	一六、七四四、五五二、五〇〇	七二〇、三三四	五、二〇三、二七七、〇〇〇
一九一六年	三一、七〇〇、九四三	一八、六六一、四六九、六〇〇	一、一一七、七四四	一一、一五五、六三一、六〇〇
一九一七年	四三、六八一、〇一〇	四三、六八一、〇一〇、〇〇〇	一、八〇七、四五九	一八、三〇三、九二〇、〇〇〇
一九一八年	四一、五五五、六六八	四一、五五五、六六八、〇〇〇	二、六五一、四三〇	二六、七六七、二七五、〇〇〇

▲麥酒及び其他飲料

年次	麥酒 數量（リツトルス）	麥酒 價格（コントス ミルレース）	其他飲料 數量（リツトルス）	其他飲料 價格（コントス ミルレース）
一九一五年	二七、九九九、三六〇	二〇、四四一、三三六、九五〇	一〇、二七七、七九七	一〇、〇三四、九七一、〇〇〇
一九一六年	一五、八四一、七五九	一五、五三三、八九〇、六〇八	一〇、九四四、一四六	一一、四六五、八七五、五〇〇
一九一七年	一八、八三五、九八七	一一、三六一、一九七、〇五〇	一三、五一二、三九〇	一三、六四八、五五二、五〇〇
一九一八年	二二、二九七、五七四	一五、八〇二、五三四、八〇〇	一四、九三六、七五八	一〇、五九九、四三七、六〇〇

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

鄕里送金

一、日本金に引直相場は當分伯貨參ミル百レースにつき日本金壹圓
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御鄕里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息　六ケ月以上　年六分
伯貨定期預金利息　六ケ月以上　年五分五厘
　　　　　　　　　壹ケ年以上　年六分
伯貨當座預金　（小口）　年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

リオ、デ、ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA : OSAKA SHOSEN KAISHA

祝練習艦隊來伯

日本郵船會社定期船
●土佐丸
十月一日神戸出帆
十一月廿九日サントス着豫定

御用の方は左記の中何れかへ御照會ありたし

伯剌西爾移民組合支部
(Caixa Postal, 1082)
Rua Tamandaré, 127. S. Paulo

アンツーネス、ドス、サントス會社
(Caixa Postal 237)
Rua Libero Badaro 93, S. Paulo

●サンパウロ州の農業、牧蓄及移民

（Agricultura, Pecuaria e Immigração）

温順なる氣候と天惠の獨特たる地形とは聖州の農業及び牧畜の發達上至大なる關係を有してゐる、大西洋岸よりセーラ、ド、マルに至る海岸地帶は中央大平原地帶に比し氣温稍高く雨量多きを以てバナナ、椰子、蘭科植物其他熱帶植物の栽培に好適してゐるが中央大平原地帶即ち內地は氣候順良にして恰かも伊太利の氣候に酷似し且つ濕氣を含むが故に珈琲棉花、果樹其他雜穀の栽培に最も適當してゐる、聖州の總面積二十五萬二千八百八十平方基米突中開拓地は僅かに其の四分の一に當り他の四分の三は森深くして奇鳥囀ずり野獸横行し未だ文明人の斧鉞の音を聞かざる狀態にあるのである。一千八百四年＝五年の調査に依れば州內に存在せし耕地數は五萬六千九百三十一にして其の所有面積は五百四萬七千六百十アルケーレス、內耕作面積は六十三萬六千三百三十八アルケーレス（一アルケールは二萬四千二百平方米突即ち約二町九反歩）であつた。之を概別すれば

	反別（アルケーレス）	割合
深森地	二、八五五、七一八	五六、九％
放牧地	一、四四七、七五二	二八、八％
耕作地	六三六、三三八	一二、五％
耕作に不適當地	一〇七、八〇二	二、〇％

の割合を示してゐた、又耕主の所有面積別を擧ぐれば次の如くであつた

十アルケーレス迄の所有者	三、五五五人
廿五アルケーレス迄の所有者	二、七三五人
五十アルケーレス迄の所有者	九、三六九人
一百アルケーレス迄の所有者	六、一八〇人
二百アルケーレス迄の所有者	四、七七七人
一千アルケーレス迄の所有者	八六六人
一千アルケーレス以上所有者	五八九人

而して此の地價は百五萬一千八百三十六コントス百八十ミル四百レースを算してゐたのである。今更らに耕主を國籍別にすれば

國籍	所有地數	面積（アルケーレス）	價格（コントス）
伯國人	四八、五〇八	四、三三九、三四二	九一四、四四三、五五四、九〇〇
伊太利人	五、一九七	一九二、〇三二	四八、三九五、一六四、五〇〇
葡萄牙人	一、六〇七	一三〇、七六七	三二、八一四、九五〇、五〇〇
墺地利人	二一七	五、一三五	一、四九九、五〇〇、〇〇〇
獨逸人	六七五	六〇、七七六	二九、七九一、七〇八、五〇〇
英吉利人	二三五	一七、九九四	三、九二一、九〇五、〇〇〇
西班牙人	四七〇	九、四一三	二、九九〇、四三七、五〇〇
佛蘭西人	一七六	一三、七三九	三、六七七、六八七、〇〇〇
其他	三三五	四五、六〇八	五、三〇五、三三二、五〇〇

の如くであつた。一千九百十八年＝十九年の最近統計に據れば耕地數は八萬六千八百四十一となり、其の所有面積は五百七十四萬九千六百九十五アルケーレス、內耕作面積は百十二萬九千九百十四アルケーレスに達してゐる。左に概別を示せば

	反別（アルケーレス）	割合
深森地	二、一九〇、四四〇	三七、二％
放牧地	二、三〇八、七四一	四〇、一％
耕作地	一、一二九、九一四	一九、六％
耕作に不適當地	一二〇、六〇〇	二、〇％

である。以上の二表を對照せば深森地は漸次減少して放牧地增加し又耕作地は殆んど二倍に垂々とする勢を以て增加してゐる。一千九百四年＝五年に於ける耕地數五萬六千九百三十一其價格百五萬一千八百三十六コントス百八十ミル四百レースに對し一千九百十八年＝十九年には耕地數八萬六千三百四十となり、其の價格は百五十三萬九千三百十六コントスを算するに至り、又五萬六千九百三十一耕地に就働せし勞働者は四十一萬五千四百七十六人、內內國人十九萬六千四百九十五人外國人二十一萬八千九百八十一人なりしが、一千九百十八年＝十九年に於ては勞働者數は六十八萬一千七百四人、內內國人三十七萬七千八十四人、外國人三十萬四千六百二十人に達したのである

二統計に從ひ耕作物種類を揭ぐれば左の如くである

耕作物種別	一九〇四年—五年（アルケーレス）	一九一八年—一九年（アルケーレス）
珈琲	三六一、五七二	四八一、〇三三
甘蔗	二〇、一三二	三三、一九四
棉花	三、四六二	六一、一五一
米	二七、四四一	六九、八一〇
玉蜀黍	一四三、三八四	三三六、八五二
葡萄	一、二二二	一、九三八
煙草	一、九九四	一三、二五九
馬鈴薯	一、七三八	二九、四四〇
其他	九、八二〇	四九、一三四

猶主要作物の生產高を一表となせば實に次の如き數字を得るのである。

主要作物別	一八九四—九五年	一九〇〇—一年	一九〇四—五年	一九一〇—一年	一九一四—一五年
珈琲	四、一〇七、四八六 サツコス	八、九三三、五〇〇 サツコス	九、〇八八、九五七 サツコス	八、五三四、二四五 サツコス	九、三〇六、六五七 サツコス
玉蜀黍	二、六〇〇、〇〇〇	五、六四一、五九〇	八、九一五、八九二	九、五五六、七六〇	一〇、九一七、七二〇
豆	三三〇、〇〇〇	八三一、一七六	一、三三四、〇一三	一、三六七、四四〇	二、三九九、三五〇
米	七八、七八〇	七四二、二四〇	一、〇二四、二四八	一、〇四九、八二七	一、〇〇七、〇四四
砂糖	九六、六〇〇	二二三、二〇〇	三八一、三六六	三九八、五八三	五四〇、二六九
棉花	二四五、四六六 アローバス	五二一、五〇四 アローバス	五六八、五五四 アローバス	一、四六六、三七八 アローバス	八六九、八八八 アローバス
煙草	一五四、六六〇	一三四、五六〇	一三五、一八三	一三〇、一二八	一二九、九八〇
火酒	三三五、〇〇〇 一〇〇リットル	六七三、一九五 一〇〇リットル	一、三三九、八九五 一〇〇リットル	一、三三六、三四七 一〇〇リットル	一、一三七、六五七 一〇〇リットル

□備考　一サツコは六十キロ入にして一アローバは十五キロなり

珈琲は一千八百九十五年より一千九百〇一年に至る間相場常に高調を保ちゐたるに因り、其の栽培に著しき發達を促したのであるが、一千九百〇一年より同十一年に至る期間に於て珈琲は恐慌時代に入り、複農太だ旺かんとなつたのである。一千八百九十五年より一千九百〇一年に至る間州の雜穀及び砂糖は州內の需要を充すに至らずして、毎年亞爾然丁國より多額の玉蜀黍を輸入し、印度より米を仰ぎ、豆をリオグランデ、ド、スル州及び智利國に需め、又佛蘭西及び葡萄牙より馬鈴薯の供給を享け砂糖はペルナンブーコ及びアラゴアス兩州より購ひゐたのである。此の時代は所謂珈琲全盛期にして聖州は珈琲を唯一產物とし食料品の多くは外國或は他州より輸入してゐたのである。如斯狀態は一千九百〇五年以後に於て急轉の變化を爲し、雜穀の收穫は年と共に增額し、現今にては州の需要を供給して猶且つ輸出しつゝあるのである一千九百十八年＝十九年の產出額は即ち左の通りである

產物品名	數量	價格（ミル）
珈琲	七、三三三、三五〇 サツコス	五四三、九九三、七五〇、〇〇〇
砂糖	四八九、四三五	二四、六七一、六三〇、〇〇〇
米	三、三六五、一〇〇	四八、七八三、九五〇、〇〇〇
豆	三、三三三、一八〇	四四、〇二四、七五〇、〇〇〇
玉蜀黍	一三、七七五、五〇〇	一三三、九七九、五〇〇、〇〇〇
棉花	二、〇三五、九八〇 アローバ	一三、二六五、七八〇、〇〇〇
煙草	一三〇、三三六	五、二二二、六四〇、〇〇〇
火酒	八四三、三六二、〇〇〇 リットル	四三、四九五、六〇六、〇〇〇
計		八五七、四三七、六〇六、〇〇〇

此等の外聖州は葡萄酒百三萬五千九百リットルス、乾葡萄三十八萬六千二百三十一アローバス及び馬鈴薯百九十八萬四千七十一アローバスを產出してゐる

▲珈琲（Café）

サンパウロ州の生命たりブラジルの主要財產たる珈琲が創めて伯國に移植されしは一千七百二十三年にして、一千七百九十二年に於てリオ、デ、ジャ子ーロ州に栽培さるゝに及び、リオ州より聖州に入りアレヤス郡、バナナル郡、ピンダモンニャンガーバ郡、タウバテー郡に於て稍々熾かんとなり、一千八百九年より同三十年に至る間にジュンデアイ、イタテーバ、カンピーナスの諸方に於て大々的栽培を見るに至り、一千八百三十五年カンピーナスは珈琲產地として第一位を占めてゐた。一千八百五十二年には八十九耕地が約二十萬アローバスを產出したるに過ぎざりしも、一千八百七十二年に至り百七十耕地は約百三十萬アローバスを產出し得たのである一千九百十四年より現今に至る迄の州の珈琲栽培は甚だ驚くべき數字を示してゐる。今三十年間に於ける其發達を一目瞭然たらしむべく左表を揭ぐ

年次	珈琲樹數	產額（アローバス）
一八九〇—九一年	二〇〇、〇〇〇、〇〇〇本	三、四二九、八三〇
一八九四—九五年	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇本	一六、四二九、九四四
一九〇〇—一年	六三九、九六〇、〇〇〇本	二五、七二四、〇〇〇
一九〇四—五年	六八八、八四五、四一〇本	三六、三五五、八二八
一九一〇—一一年	六九六、七〇一、四二五本	三三、八三三、五〇四
一九一四—一五年	七三五、四四四、三五〇本	三六、八二六、〇三〇
一九一七—一八年	八二四、一八八、七六三本	四八、八四〇、六〇〇
一九一八—一九年	八二八、三五五、四二五本	二九、〇一三、〇〇〇

本表に據つて視れば現在珈琲樹數は一千八百九十年＝九十一年の夫れに比較して四倍以上の增加をなしてゐる。之れ即ち一千八百九十五年に於て珈琲相場は十キロに付十一ミル百レースより十八ミルレースの高價を告げたる爲め、各人競ふて之れが栽培に從事したる結果である。然るに一千九百〇一年に至り相場は十キロに付き六ミル四百レースより六ミル百三十レースに暴落し、收穫は樹數に比例して增加し猶相場の下落を來たさしめ一大恐慌を釀すに至つた、

（以下次面へ續く）

同胞森林伐採隊の活動

世界の富源なる大森林は我が勇敢なる
植民者の不断の努力に依つて一日一日と開拓
せられ五穀實る野と變じつゝあります

練習艦隊ノ
來伯ヲ祝ス
橫濱正金銀行
リオ、デ
ジヤネイロ支店

練習艦隊歡迎
日本貿易株式會社
リオ、デ、ジヤ子イロ支店
サン、パウロ出張所
ブエノス、アイレス支店

政府は其の救濟策として八百萬俵の買占を實行したのであつた。珈琲樹一本の價格は平均二ミルレースにして其の手入賃其他諸費は一ヶ年三百レースを要する。一本の産出能率は土地の肥瘠樹木の新古、發育の如何雨量の多少等に依り差異を生ずれども、大體に於て七百五十グラムより一キロ二百グラムの間であるが、地味頗る好良なる處にては二キロ二百五十グラムを産した例がある。一千本の産出額は五十アローバスより六十三アローバスの間にあり、最近九ヶ年間の平均産額は五十六アローバスである。而して世界の珈琲産額及び其消費高は次の如き統計となつて表はる。

珈琲樹

世界の名物たる伯國の珈琲樹です各種類の異なれるにつれ樹幹の長短大小の差はあれど一般に人さ比較する時は寫眞の様のものです

年次	世界産額 俵	世界消費高 俵
一九〇八—九年	一六、九一八、〇〇〇	一八、三三七、〇〇〇
一九〇九—一〇年	一九、一三五、〇〇〇	一八、三三三、〇〇〇
一九一〇—一一年	一四、五三四、〇〇〇	一七、一七二、〇〇〇
一九一一—一二年	一七、四〇九、〇〇〇	一七、四五四、〇〇〇
一九一二—一三年	一六、三七三、〇〇〇	一七、一三三、〇〇〇
一九一三—一四年	一九、六二一、〇〇〇	一八、五八二、〇〇〇
一九一四—一五年	一七、八六五、〇〇〇	二一、六五八、〇〇〇
一九一五—一六年	二〇、七六一、〇〇〇	二一、〇八四、〇〇〇
一九一六—一七年	一六、六九二、〇〇〇	一六、〇一六、〇〇〇
一九一七—一八年	一八、八四七、〇〇〇	一四、八三三、〇〇〇

之に對しサントス港より輸出したる珈琲は實に左の通りである。

年次	數量（サツコス）	價格（ミル）	英貨相當額（ポンド）
一九〇九	一三、四五三、一〇四	四二九、三三三、三一四	二六、九三三、八六一
一九一〇	六、八三四、七三三	二七八、五四三、一五七	一九、五〇六、三三三
一九一一	八、七一九、七四三	四七七、六六三、三一九	三一、八一七、三二六
一九一二	八、九三四、七一九	五三七、五一一、八四三	三五、一六七、四五六
一九一三	一〇、三三九、二四五	四八七、九九九、六六三	三三、五三三、三三一
一九一四	八、四九三、五五七	三五〇、〇九四、〇〇九	二一、三八七、一六三
一九一五	一三、一一九、七四一	四四三、六九八、七一五	二三、五六一、五五四
一九一六	九、九四三、一五八	四五六、七四九、七四〇	二三、七一〇、七三三
一九一七	七、八四五、〇八九	三三六、七六三、七〇〇	一七、六〇五、二三三
一九一八	五、三九〇、九一三	二六八、三八三、六〇〇	一四、四八九、五九五

更らに一俵六十キロの平均船渡相場を擧ぐれば左表の如くとなる。

年次	ミル　レース
一九〇九年	三一、九一三
一九一〇年	四〇、七五四
一九一一年	五四、七八〇
一九一二年	五九、〇四一
一九一三年	四七、七〇六
一九一四年	四一、二一九
一九一五年	三七、四三五
一九一六年	四五、九三六
一九一七年	四二、九二七
一九一八年	四九、七八四

猶ほ一アローバに對する平均生産費は二ミル五百レース即ち一俵六十キロに付十ミルレース平均を要するのである

▲棉花（Algodão）

サンパウロ州に棉花栽培を始めたるは遠くポルトガール人殖民時代にして、一千六百年には州内の需要を充たすを得、一千八百七十年より一千八百八十年の間には州は毎年七千噸乃至八千噸の綿を輸出し、現今に於ては棉花産額は洵に重大なる經濟的位置を占めてゐる、其の産額及び價格表は次の通りである。

年次	産額（アローバ）	價格（ミル）	一アローバの平均相場（レース）
一九一一—一二	一、二四九、三二四	五、〇五九、三一七	四、〇五〇
一二—一三	二、六五四、四九七	八、七五九、八四〇	三、三〇〇
一三—一四	六三八、五五〇	二、一六七、二九八	三、四五〇
一四—一五	八六九、八八八	三、二六三、〇八〇	三、七五〇
一五—一六	一、六三二、六三五	一四、二八五、五五六	八、七五〇
一六—一七	二、六八五、一八二	三六、四三〇、七七九	一二、七五〇
一七—一八	三、六八五、一八二	七〇、〇一八、四五八	一九、〇〇〇
一八—一九	二、〇三五、九八〇	三二、二八五、七六〇	二二、〇〇〇

一千九百十八年=十九年の州棉花總産額一千百二萬五千九百八十アローバスの核を去りたる綿は四千九百六十一萬六千九百十キロとなる

▲砂糖及び火酒（Assucar e Aguardente）

一千八百四十年以前にありては甘蔗は州作物の首位を占めたるが、一千八百七十年より一千九百年に至る間珈琲栽培旺盛となりたるに伴れて衰退したのである、近年に至り製糖業勃興し現今にては聖州は伯國中有數の製糖工場を有することゝなつた。一千九百年には州内に製糖所十ヶ所ありて砂糖一千五百三十萬六千六百キロ即ち二十五萬五千九十一俵（六十キロ）入を製産し、又火酒六千七百二十一萬九千五百リットルスを産出するに至りたるも、州の需要に應ずる能はずして同年砂糖四十二萬九千六百九十一俵、火酒九百九十四樽を輸入したるが現時に於ては製産額夥しく增加してゐる即ち別表の通りである。

年次	砂糖製産額（サツコス）	價格（ミル）
一九一一—一二年	四三七、八九四	一一、三三一、五四八、〇〇〇
一二—一三年	四一四、六三二	八、五四九、三二九、三五〇
一三—一四年	四〇六、一五四	七、六二〇、五九〇、五〇〇
一四—一五年	五四〇、二六九	一四、六六七、〇〇二、〇〇〇
一五—一六年	六一五、九五一	二〇、七四八、〇一八、九五〇
一六—一七年	六二二、九二四	三三、三三六、五〇二、五〇〇
一七—一八年	三三八、一四一	一〇、八三五、三四六、六五〇
一八—一九年	四八九、四二五	二四、六七一、六三〇、〇〇〇

年次	火酒製産額（リットルス）	價格（ミル）
一九一一—一二年	一三四、九四二、八八〇	三八、〇八二、八六四、〇〇〇
一二—一三年	一三四、三一八、一八〇	三八、一八五、六四六、二〇〇
一三—一四年	一一六、九三三、五五二	三五、〇七六、七六五、〇〇〇
一四—一五年	一一三、七六五、七〇〇	三四、〇八三、五一四、四〇〇
一五—一六年	一一三、四九四、一七八	三一、四二一、八七九、八〇〇
一六—一七年	一〇三、一八六、三五五	三一、九二九、〇三五、一〇〇
一七—一八年	六三、七二九、六〇〇	三三、四八七、七六三、四〇〇
一八—一九年	八四、三三六、三〇〇	四三、四九五、六〇六、三〇〇

甘蔗の産額は一エクタールに付ロレナ、ピラシカバ、ポルトフエリス及びジャボテカバルに於て四十噸、カピヴアリーに於て四十五噸、フランカに於て五十噸、カンピーナスに於て五十九噸の割合である。州内に小規模の製糖場約二千、大規模に屬する製糖所十五あり就中有名なるは『サンタ、バルバラ』、『ヴイラ、ラハルド』、『ポルトフエリス』、コスモポリス』及『サンシモン』製糖所等である。

▲煙草（Fumo）

サンパウロ州に於ける煙草栽培業は一千七百七十七年に起り其の後五十年を經て三十萬キロを産出し、其の半額を輸出するの幸を得、一千八百八十二年より同八十三年には輸出百三十六萬二千八百十一キロを算するに至つたのである、最近産額は次表の示す如くである。

年次	産額（アローバス）	價格（ミル）
一九一一—一二年	三一、八二〇	三、三五五、五〇〇、〇〇〇
一二—一三年	五〇、七六〇	三、七六九、〇〇〇、〇〇〇
一三—一四年	四九、三六五	三、七三一、六三五、〇〇〇
一四—一五年	一九、九八〇	二、九九九、五〇〇、〇〇〇
一五—一六年	五八、三二〇	三、八五六、七五〇、〇〇〇
一六—一七年	九〇、四九六	四、七六三、一〇〇、〇〇〇
一七—一八年	一二六、〇七〇	四、〇六二、四五〇、〇〇〇
一八—一九年	一三〇、三一六	五、二二三、六四〇、〇〇〇

而てし一アルケールの産額は一千九百十四年=十五年に於て平均六十アローバスなりしが、一千九百十五年=十六年には平均七十アローバスに達したのである。

▲米（Arroz）

米作はイグアッペ地方に於て古くより行はれゐたるが近年政府は之れが栽培を奬勵したる結果パラナイバ、パルド、モヂグワスー及びテエテーの諸河沿岸平地に米作頗る盛んとなり、今より十有餘年前印度より輸入を仰ぎゐたる聖州は一躍して年々一萬四千俵より二萬六千俵の精米を輸出し得る事となつたのである

米産額及び其の價格表

年次	數量（サツコス）	價格（ミル）
一九一一—一二年	一、七四三、一三〇	二〇、九〇五、九六〇、〇〇〇
一二—一三年	一、三九〇、七三三	一五、九九三、四二九、五〇〇
一三—一四年	一、四七六、八九六	一五、五〇七、四〇八、〇〇〇
一四—一五年	一、〇〇七、〇四四	一六、一一三、七〇四、〇〇〇
一五—一六年	一、九四三、九八九	三三、三五五、八七三、五〇〇
一六—一七年	二、五九二、一五七	三八、八八二、三五五、〇〇〇
一七—一八年	三、〇七一、四四四	五八、三五八、一九六、〇〇〇
一八—一九年	三、三六五、一〇〇	四八、七八三、九五〇、九五〇

▲玉蜀黍（Milho）

聖州に於て最も多く栽培さるゝは玉蜀黍にして、其の種類は黄白、カテツテ、クアレントン及びピポーカ等である。播種は九月より十二月の間に於て爲し、翌年の五月六月に收穫をなすのであるが、一アルケールの産額は地味の如何に依り大なる差違ありて一様ならざるも、二千七百リットルスより九千リットルスの間にある。又百リットルスの相場は普通五ミルレースより十二ミルレース迄である。其の産額及び價格は左表に據れば明かとなる。

棉及棉花摘採の光景

珈琲園内の間作地に栽培したる棉及棉花の採集にして間作さしては最も收益の多きのみならず主作物さしても伯國の將來は鐵さ棉さにあるさまで稱せらるゝ程重要視せられて居ります

年次	産額（サツコス）	價格（ミル）
一九一一—一二年	二、〇八五、八四〇	九四、三三九、六四〇、〇〇〇
一二—一三年	九、八三二、九一〇	八五、四八六、三三五、〇〇〇
一三—一四年	一一、〇六九、三〇〇	六六、四一五、八〇〇、〇〇〇
一四—一五年	一〇、九一七、七三〇	九三、八〇〇、六三〇、〇〇〇
一五—一六年	一〇、八九七、二六〇	九二、六三六、七一〇、〇〇〇
一六—一七年	一三、一三三、六三八	七三、八〇一、八二八、〇〇〇
一七—一八年	一三、六六八、七〇〇	九五、四七〇、九〇〇、〇〇〇
一八—一九年	一三、七七五、五〇〇	一三三、九七九、五〇〇、〇〇〇

▲豆（Fejiao）

食料品として伯國人に缺くべからざるは豆である、随つて廣く栽培されてゐる、種類はムラテーニョ、白、黑、赤等であるが、重に栽培さるゝはムラテーニヨ種である。

豆産額及び價格表

年次	數量（サツコス）	價格（ミル）
一九一一—一二年	一、八〇三、三九二	二八、二五〇、八八〇、〇〇〇
一二—一三年	一、九三三、一四三	三〇、七五四、二七二、〇〇〇
一三—一四年	一、九三一、六〇〇	二八、八二四、〇〇〇、〇〇〇
一四—一五年	二、五九九、五五〇	四八、〇八七、九七五、〇〇〇
一五—一六年	三、一三五、一一〇	五一、七三〇、四〇五、〇〇〇
一六—一七年	二、五八九、五四〇	五八、二六四、五五〇、〇〇〇
一七—一八年	三、二二九、八六八	七一、九六六、九六四、〇〇〇
一八—一九年	三、五三三、七六〇	四四、〇三四、七五〇、〇〇〇

豆は一年二回の收穫あり、一は乾燥期豆と稱して一月末より二月に播種し四月末より五月に收穫し、他は雨期豆と呼て九月に種子を下し十二月より一月に收穫するのである。

▲牧畜（Pecuaria）

聖州内に存在する五百二萬九千九百八十八エクタールスの放牧地には天然牧草の外カピンジャガラー及びカチンゲーラ牧草を蓄植せしめて鋭意牧畜の發達に勗めつゝあるも、ミーナス、マトグロッソ及びゴヤスの諸州に比するときは甚だ振はざるの狀態にある。ミナス州に接近する地帶即ちバレットス、ベベドーロよりバ

（以下次面へ續く）

練習艦隊ノ來伯ヲ祝ス
カーザ日本
家具商　吉田政之進
コンソラソン街四一

練習艦隊ノ來伯ヲ祝ス
藤崎商會
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　サン、パウロ
　　　ペルナンブコ

練習艦隊ノ來伯ヲ祝ス
聖市　愛輪同志會

タタエス及びフランカ地方は牛の飼育比較的盛かんにして、馬及び豚はイタペテニンガ及びボッカツーよりパラナ州境に到る地方に多く、又中央鐵道が横斷する地方よりセーラ、ダ、マンテケーラに向ふ處は綿羊の飼養地として有名である。近年に及び聖州の牧畜業には稍々見るべきものあり即ち一千九百四年＝五年、一千九百十八年＝十九年の統計を比較せば

一九〇四年—五年の家畜頭數及價格

	頭	ミル
牛	七三八、〇四六	五九、〇四三、六八〇、〇〇〇
綿羊	六三、八一四	六九〇、九五四、〇〇〇
山羊	一三六、〇三八	一、四九六、三三八、〇〇〇
豚	一、二八二、七七五	六九、二六九、八五〇、〇〇〇
馬	二八〇、七〇〇	三一、四三八、四〇〇、〇〇〇
ブウロ	一二四、八七四	二四、九六九、四〇〇、〇〇〇
計	二、六二五、二二〇	一八六、九〇八、六三三、〇〇〇

一九一八年—一九年の家畜頭數及價格

	頭	ミル
牛	三、一〇八、三〇五	三五七、四四三、五五五、〇〇〇
綿羊	一〇六、〇六一	一、一六六、六七一、〇〇〇
山羊	二六二、〇四八	三、九八二、五二八、〇〇〇
豚	四、九八九、五七四	二七四、四二六、五七〇、〇〇〇
馬	五五一、〇〇五	六六、一二〇、六〇〇、〇〇〇
ブウロ	四二八、三四八	七三、八一九、一六〇、〇〇〇
計	九、五四五、三四一	七七五、九九九、一〇四、〇〇〇

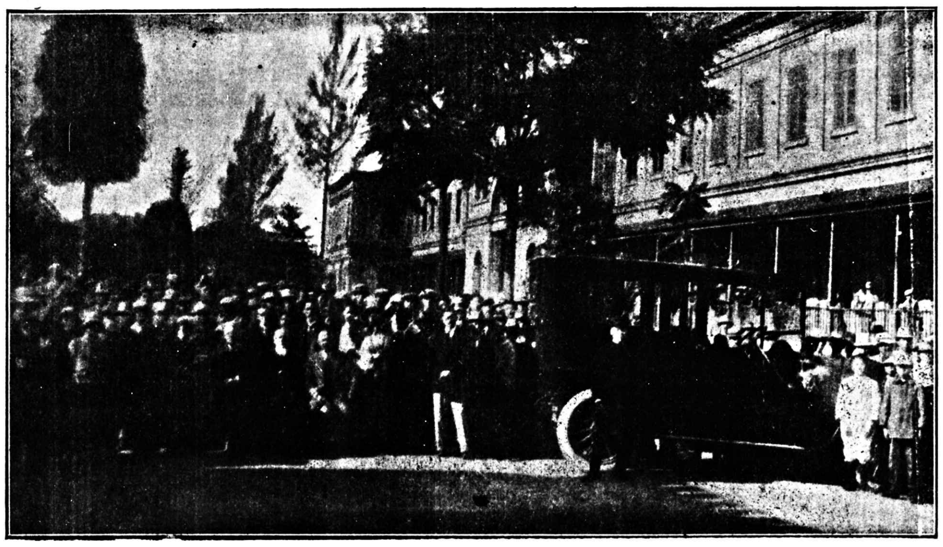
前表總頭數二百六十二萬五千二百二十頭に對し後表の總頭數は三倍以上の増加を示してゐる。又牧畜地方別に數字を掲ぐれば次の如くである。

郡	牧場面積 アルケーレス	頭數 一九〇四—五年 頭	頭數 一九一八—一九年 頭
バレツトス	一四三、三四三	四〇、三二一	三五八、〇八三
オリンピヤ	一四一、六七八	—	二〇〇、二四六
オルランデヤ	一二四、四二九	二〇、六六七	九一、〇一八
リオプレト	四六、五一一	三三、〇〇三	九三、九一三
カンポノーヴオドパラナパ子マ	一二三、七二〇	一一、一六六	七四、八〇三
フランカ	五〇、六二七	二六、五三八	六八、〇七五
ブラガンサ	一〇、四三三	四、〇五一	三七、〇〇八

州内の一ケ年の消費高は牛二十五萬頭、豚二十六萬頭、綿羊一萬五千頭山羊八千頭である。然れども州は其の半數を供給し得るのみにて年々歳々隣州より牛十三萬を輸入してゐる。

▲移民（Immigração）

聖州總面積の四分の三は未だ自然の儘に委してあるが故に、天與の寶庫も扉堅く鎖され人類に其の富源を與へざる何かの理由でもあるかの如く疑はるゝも、其の實は全く然らず、資本の不足と勞力の窮乏さが已むを得ず玆に至らしめてゐるのである。殊に勞力の不足は聖州産業の進歩を迅速ならしめざるが故に、州政府は極力勞力の充實を圖らんとして大多數の外國移民を招致するに意を用ゐてゐる。聖州に外國移民が入國せしは一千八百二十七年の帝政時代に始まり、同年十一月十三日初めて獨逸移民二百二十六人サントス港に上陸し、其の翌年更らに獨逸人六百五十人の入國を見、一千八百三十六年及び同三十七年に於てイパチマ製鐵所に就働契約をなせし移民五百八十一人の輸入をなせしが其の結果は甚だ不良であつた。一千八百四十年帝政府は、個人が外國移民を輸入するに對し補助を與ふることを定めしに仍り、時の上院議員カンポス、ヴェルゲーロはイビカバなる其の私有農場に移民を招呼せんとして、一千八百五十五年に二千百二十五人を年々輸入する契約をなしたるが、不幸此の企は効果を齎さず、一千八百五十七年に至り中止したのである。一千八百八十八年伯國が奴隷を廢止するに及び外國移民の渡來遽かに頻繁となり同年末には八萬四千八百八人の入國者を算するに至つた。今試みに一千八百九十年より一千九百十六年に至る十五年間の入國移民數を擧ぐれば左の如くである。若是れ聖州に於ける外國移民史の概念を作るの資ともならば幸ひである。



移民收容所前庭に於ける我が同胞

▲一八九〇年—一八九四年

伊太利人	二一〇、九一〇人
西班牙人	四二、三一六人
葡萄牙人	三〇、七五二人
墺地利人	六、〇六九人
其他	一四、八三〇人
計	三〇四、八七七人

▲一八九五年—一八九九年

伊太利人	二一九、三三三人
西班牙人	四四、六七八人
葡萄牙人	二八、二五九人
墺地利人	八、八四一人
其他	二、四六四人
計	三〇三、五七五人

▲一九〇〇年—一九〇四年

伊太利人	一一一、〇三九人
西班牙人	一八、八四二人
葡萄牙人	一八、五三〇人
墺地利人	二、六六三人
其他	八、五二八人
計	一五九、六〇二人

▲一九〇五年—一九〇九年

伊太利人	六三、五九五人
西班牙人	六九、六八二人
葡萄牙人	三八、五六七人
墺地利人	二、七一四人
其他	二一、九八一人
計	一九六、五三九人

▲一九一〇年—一九一四年

伊太利人	八八、六九二人
西班牙人	一〇八、一五四人
葡萄牙人	一一一、四九一人
墺地利人	四、四一〇人
其他	五〇、一五一人
計	三六二、八九八人

▲一九一五年—一九一六年

伊太利人	七、九四五人
西班牙人	一一、七七八人
葡萄牙人	一〇、七〇三人
墺地利人	一、一一二人
其他	二、〇八七人
計	三三、六二五人

總計　百三十六萬〇百十六人

即ち一千八百九十年より一千九百十六年の間に於て伊太利人七十萬一千五百十四人、西班牙人二十九萬五千四百五十八人、葡萄牙人二十三萬八千三百二人、墺地利人二萬四千八百九人、其他十萬〇〇四十一人の大多數聖州に入り込んだのである、猶、州の人口と移民（入國及出國）とを對照すれば左の如くである。

年次	州の人口 人	入國移民 人	出國移民 人
一八九〇年	一、三八四、七五三	三八、二九一	—
九一年	一、四九二、九八九	一〇八、七三六	—
九二年	一、五四八、六九五	四二、〇六一	一六、五五〇
九三年	一、六四八、〇五〇	八一、七四五	一一、八一四
九四年	一、七〇九、四四八	四八、九四七	一七、八九〇
九五年	一、八四四、三九五	一三九、九九八	二一、〇一七
九六年	一、九六六、一三三	九九、〇一〇	一八、二六四
九七年	二、〇七一、三九八	九八、一三四	二九、八八五
九八年	二、一六七、五〇三	四六、九三九	二一、四二八
九九年	二、二三三、八九五	三一、二二五	二四、一八二
一九〇〇年	二、二七九、六〇八	二三、八〇二	二七、九一七
〇一年	二、三四七、五七八	七一、七八二	三六、〇九九
〇二年	二、三八三、〇〇四	四〇、三八六	三一、四三七
〇三年	二、四一四、六二七	一八、一六一	三六、四一〇
〇四年	二、四五一、二五四	二七、七五一	三三、六七七
〇五年	二、五〇七、〇六一	四七、八一七	三四、八一九
〇六年	二、五五〇、六二〇	四八、四二九	四一、三四九
〇七年	二、五五九、九九〇	三一、六八一	三六、二六九
〇八年	二、六七〇、〇二六	四〇、二二五	三〇、七五〇
〇九年	二、七三九、七八〇	三九、六七四	三四、五一三
一〇年	二、八〇〇、四二四	四〇、四七八	三〇、七六一
一一年	二、八九三、四一〇	六四、九九〇	二七、三三一
一二年	三、〇一二、〇四〇	一〇一、九四七	三七、四〇〇
一三年	三、一四九、五〇四	一一九、七五七	四一、一五四
一四年	三、二三四、〇二〇	四八、四一三	四一、八二四
一五年	三、二九七、〇九七	二〇、九二七	二六、七四四
〇六年	三、三四一、五六五	二〇、三五七	三、七六六

『備考』本表移民數には外國移民の外勞働の目的を以て他州より來りし伯國人をも含む

移民には自由、契約の種別がある、自由移民とは自己の計算を以て渡航したる者を云ひ契約移民とは即ち州政府より補助を受けて入國したる者にして、入國最初の一農年間珈琲耕地若くは殖民地に於て農事勞働に從事する義務を有するものである。其の入國數を表となして掲ぐれば次の如くとなる。

年次	自由移民 人	契約移民 人	計 人
一八〇九—九四年	二七、三九四	二九二、三八六	三一九、七八〇
九五—九九年	一三、六七八	三〇三、六一八	四五一、二九六
一九〇〇—〇五年	九三、六二九	八七、二三三	一八〇、八六六
〇五—〇九年	一三〇、六九五	七七、一三一	二〇七、八二六
一〇—一四年	二三六、九六九	一三八、六一七	三七五、五八六
一九一五年	一八、二二七	二、七一〇	二〇、三三七
合計	六〇八、五九二	九二一、七一五	一、五三〇、三〇七

『備考』本表には外國移民の外勞働の目的を以て他州より來たりし伯國人をも含む

外國移民に倚つて其の産業を開發せざるべからざる運命にある聖州は外來移民に對し甚だ寛大なる特典を與へて、偏に外國移民を勸誘するに全力を盡してゐるのである。而かも契約移民には旅費の全額或は半額乃至は其の部分額を補助するの外、農事勞働に從事し入國後二ケ年間に於て其の家長が不幸疾病に斃れ、其の遺族が歸國せんと欲する時或は不慮の災難に依り家長が勞働不可能の境遇に陷りたる場合、其の家族と共に歸國せんとするとき政府は最近の上陸港に至る三等旅費を支給するのみならず、其の家族人員數に應じて百ミルレースより二百ミルレース迄の現金補助を與ふるのである、例令ば歸國移民家族が三人又は三人以下の場合には百ミルレースを支給し、三人以上五人迄の時は百五十ミルレースを給し五人以上なれば二百ミルレースを給與する等獨り入國移民に對してのみ特典を與へ便宜を圖かるに止まらず歸國移民に對しても如斯恩典を與ふるを見れば、如何に聖州政府が外國移民を待遇しつゝあるかを推斷するに難からざると共に、伯國殊に聖州が勞力の缺乏を充實せんとして全力を盡しつゝあるを知り得べきである。蓋し伯國富源の開發は外國移民の入國數と比例して增進すべき性質を有してゐるのである。

練習艦隊ノ來伯ヲ祝ス

家具商
カーザ、ミカド
菅平吉

練習艦隊歡迎

直輸入商
瀬木商店
コンデ街四九番

練習艦隊ノ來伯ヲ祝ス

日伯物産便利組
中矢熊太郎

●伯刺西爾に於ける日本人農業狀態

（Agricultores japonezes no Brazil）

伯刺西爾に在る日本人の大多數はサンパウロ州（以下聖州と書く）に在つて農業に從事してゐる。リオ、サントス、サンパウロ、又は大森林州等にあり農業以外の勞働に從事しある者もあるが、それは全體の一割にも達しない。殘餘の約九割即ち在伯日本人の大部分は主として聖州に在つて農業に從事してゐる。（ミナス、パラナ兩州にも散在してゐるが、孰れも甚だしく聖州に隣接しあるを以て殊更に區別しない）。だから聖州にゐる日本人農業狀態の現況を知ることが、やがて、在伯日本人の現在を知ることになる。

日本移民は聖州の珈琲園で働く約束で入國した。今でもその約束である。だが日本人は他の南歐移民の如く何時迄も珈琲園に落付き、實直に除草をやり、珈琲實をちぎるだらふとの此國政事家や、耕主達の最初の豫想は遂に豫想に反した。珈琲園を見捨て、獨立、半獨立の農業に入る者年と共にその數を增して來た。今珈琲園の勞働に在る者、獨立、半獨立等の農業に從事しある家族數を示せば次の如くである。

珈琲園勞働	約	二、五〇〇家族
半獨立農業	約	三、三〇〇家族
獨立農	約	二、二〇〇家族
合計	約	八、〇〇〇家族

而して珈琲園勞働とはいふ迄もなく珈琲園の勞働に從事しある者で。半獨立農とは借地又は歩合作等にて、米、棉、馬鈴薯、甘蔗、雜穀等を栽培し、又は珈琲の新植栽培を受負ふ者。獨立農とは土地を購入所有し、所謂植民として獨立農業を自營する者である。そして現在海外興業會社の經營に係る『イグアツペ』植民地の樣に日本から直接植民として渡伯し入植する者多數なる植民地は例外として、今日州内所々に散在する大小數十の植民地に在る植民者は全部移民から植民に進んだもので、移民さして數年間珈琲園の勞働に從事し此の國農業の一般を修得した者なることはいふ迄もない。今日本人が前記三勞働の現況を單簡に、且つ極めて全般的な見解からこれを説明するなら

一、珈琲園勞働

珈琲園の正體を詳述することは、長くなるから省くとして、今日聖州にある多くの珈琲園は大部分奴隷時代に發達したもの、謂はゞ昔の黒坊さん達が奮闘努力の置土産ごうせ日本製の新式な頭腦には不可解の處はあるべきで、耕主即ちパトロンは萬能に專制で、此處赤色は大禁物である

近年勞働者の不足から珈琲園に於ける移民の待遇が改善され、殊に戰後に於て除草採集賃銀や、作物植付の條件等に於ても著しき上騰改善を見たけれ共、日本から來たての新移民達には珈琲園の勞働生活は、日本で夢想してゐた程容易なものでも、亦愉快なものでないに一度は失望し、不平も出で、問題も起るが、それも最初だけの間で、間もなく所謂ブラジル式になつて＝ならなければならぬ樣になつて＝呑氣に大平樂を並ぶるにいたる。四五年間の珈琲園生活はブラジル農學校の小學生、新兵時代で、此國で農業する誰もが一度は通らねばならぬ、通つて爲めになる處ではあるが、日本人には可成通りたくない、急行の素通りとしたいといふ不心得者が多い。これが今日に於て、日本移民の聲價の漸次下落し甚だ香ばしからぬ最大原因である。日本からの農業者なら珈琲園の勞働なぞ大したことではないのだが、噓の百姓樣には大變な勞働で且つ苦痛である。だが働かずに喰へぬことは日本もブラジルも同樣な明確な事實である以上、只理想と現實の相違にあきれてゐたでは相濟まぬ、嫌でも土を掘らねばならぬ。掘る樣になる。何物かに掘り着けた、掘り出したといふがブラジルに於ける日本移植民の過去現在で、將來も亦斯くあるべきである、實際に於て珈琲園の勞働は他の獨立、半獨立の農業の激勞なるに比し甚だ輕易で、規律嚴なりといふコローニヤ生活も在郷軍人には何のことはない、寛を嚴なりと思考し容易を容易でないと考ふるも容易なことで、要はその人の決心自覺に依つて、珈琲園は地獄ともなり、又極樂世界とも變ずる。

日本人經營最大植民地イグアペ郡レヂストロ本部の景

除草と採集は珈琲園の主なる仕事で、除草、採集賃、日雇勞働、間作物の收穫、養豚等が珈琲園に於ける主たる收入である、殊に後二者の收入は同一耕地に落付けば落付く程收益を增すもので多くの場合前三者を凌ぐことがある

移民の收入は耕地の狀況、支配の良否、移民各自の遣方等に依り固より一定しないが、初年度食ふだけ、二年度稍殘る、三年度貯つた位のことで四年五年目に植民者となり、地主となり得るは餘程の好成績者（三年目に二十五町歩内外の地主になつた者も數十家族はある）である。

要するに相手は土、儲かつたとて大變なことはないが、儲からぬことでない。儲けた者も數多いが多くの場合新移民は、入耕當時の惡印象、不良收入をその儘五年六年後に見越して算盤をはぢきブラジル不有望説を唱へて無意味に苦心するやうになつてゐる。

移民の成功とは金儲けて日本へ歸ることであるなら、珈琲耕地で成功した者もあり、成功せんとしてる者も尠くない。耕地で成功しかけて植民地で失敗した者もある。『珈琲園は儲からぬ處なり』と短氣に悲觀して後悔する者も數多い。

性急な日本人の國民性は珈琲果實の採取に適し、他の歐洲移民に比し、何時も優良な成績を上げる教育があるから日雇に出ても、亦他の勞働をさせても、南歐移民や黒奴さんの樣に一々監督者の命令指圖がなければ、何事も出來ない臨機適應の處置は取れないといふ樣なことはない。金儲けを急ぐから、急がなければならぬ理由があるから、一生懸命に働く、他國移民に比し勞働能率が大い。草の多かつた耕地が日本移民の御陰で立派になつた實例もある。これは日本移民の良好な一面であるが、教育があり、頭腦があるから質の惡いことを考へ、質の良からぬことをやらかす。言葉が解らんからつまらぬ衝突も起る。大和魂を惡用しては同盟罷業となり怠業となる。うまく逃げる。飛ぶ。常に移動して落着きがない。如斯して今日一般珈琲園主、支配人等の日本移民に對する眞情は決して良好ではない。珈琲移民として最も好評あるは伊國移民で、彼等は十年廿年と同一耕地に馬鹿辛抱する。西班牙移民は日本人と似た傾向に騷ぎ移り走るが日本人程でない、日本人のゐる耕地を視て廻ると、何處の耕主支配人でも西班牙移民は御免だと變な御世辭をいふ。西班牙移民が排斥されて、兄弟分の樣な質の良からぬ日本移民だけが、此國で末永く歡迎され樣とは、餘りにありがたい皮肉だ。

二、半獨立者

現在數に於て在伯日本人農業者の首位を占むる本農業者は、多く珈琲園を卒業した者が、新植珈琲の受負栽培をやり、又は借地、歩合作等にて米、棉、馬鈴薯、甘蔗その他の雜穀を栽培する者で、前記三千三百の半獨立農業者を、その從事する專門作物に依つて大別すれば次の如くである。

作物	家族數	耕作面積
新珈琲	九〇〇	
米作者	一、五〇〇	二一、〇〇〇町
棉作者	七〇〇	
馬鈴薯	二〇〇	
合計	三、三〇〇家族	

但し米作者で棉作をやり、棉作者で米を植る者もあつて、確然たる區分は困難で、殊に新珈琲受負の如きは米も、棉も、豆も、唐黍も植るが、大體に於て前記の家族が、それぞれ自己の專門とするに全力を注ぎつゝあるは確實である。

（イ）新植珈琲の栽培受負、とは三年四年五年又は六年の年限で、耕主と契約して新珈琲を仕立てゝやることで、受負者の主たる收益は、新珈琲樹間に植る諸作物の收穫で、新珈琲を仕立てる處は普通地味の肥沃な處女地で、作物からの收益は相當に豐かなものがあり、多くの場合契約

（以下十面へ續く）

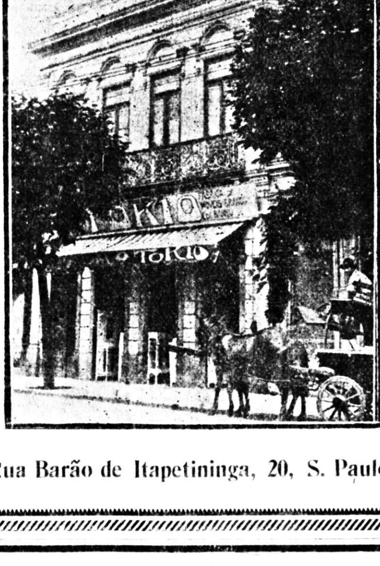
練習艦隊歡迎

聖市

東京物産商會

笹原憲次

志賀伯之助



練習艦隊ノ來伯ヲ祝ス

カーザ東京

家具商

杉本芳之助

Rua Barão de Itapetininga, 20, S. Paulo.

練習艦隊歡迎

共三組商事株式會社

リオ出張所

西谷一男

年限中に實つた珈琲果實ら受負者の收入となるが故に、日本人にてこの種の農業希望者、甚だ多いが、最初相當に資本を要すると、珈琲栽培上に關する經驗も必要とする關係から他の米作、棉作等の如く、比較的容易に入り難い處がある。而してノロエステ線、アララクアラ線方面には此の種の農業者甚だ多いが、我慾の強い人は大事な筈の新珈琲を第二とし、自己の作物を第一とするの惡風あり、到る處に好評は聞き得ない。

(ロ)米作、聖州に於ける米作の發達は最近のことで、大戰中歐洲方面へ多量に且つ高價に輸出されたに刺戟されたもので、殊に日本人の米作は三四年この方異常の發展を示した。本年度本州の總生産額は籾約五百萬俵（一俵は六十キロ入）內八十萬俵は吾々日本人の生産したものである。地勢上全部陸稻で、水田といふはない多く河川に沿ふた低濕地に栽培されるが、雨量順なるに於て、山頂何米實る此國では日本人の米作はあらゆる方面にあらゆる土地に試みられて稍々投機的性質を帶ぶるに至つた。米作方法も州內の或地方では機械耕作をやつてゐるが、大部分は所謂ブラジル式の甚だ粗雜な方法で、日本式集約的農法は不向、不經濟だといはれてゐる、ミナス州大河沿岸の五百家族と、チユキア線沖繩縣人四百家族の二つは、日本人米作專門者集團の兩大關で、前者は耕作に稍機械を使用し、後者は純ブラジル式原始的であるが、孰れにも長短優劣の兩方面があつて、優否の決定は困難である。その他州內諸所に散在する日本人の米作は純ブラジル式、或は半ブラジル式であるが、全體から見て日本人の米作方法は他國人のそれに比し進步してゐるが、中には生産費が市價を超過する樣な優良米を生産したといふが如き、寒心に堪えぬ米作者もあつた

その一家族（三人家族）の耕作面積は日本に比し甚だ廣い、普通六町步を耕作して一町步からの收穫は籾四十俵を普通作とする。植付は處に依つて相違するが普通八月から十二月末迄、低濕地は二度の收穫も豫期し得るが、勞力の高價な地方では生産費高きが爲め不經濟視され、一回の收穫を普通とする。

大河沿岸及びチユキア線本年度の生産高は次の如くであつた。

方面別	家族數	耕作面積	收穫高
	家族	町	俵
大河沿岸	四一〇	三、六二五	一〇〇、九三六
チユキア線	四〇二	三、四五〇	六八、四〇〇
合計			一六九、三三六

摘要（一俵は籾六十キロ入）

尙ほ米專門でなく、珈琲園外に在り米作した獨立、半獨立農業者今年度に於ける收穫大畧を、主要鐵道線に依つて區分するときは大約左の如くである（勿論日本人の大多數は珈琲園に勞働しつゝも間作として米を作らぬはない。中には米作專門家よりも多收する者もある）

方面別	從事家族數	收量
	家族	俵
モヂアナ線	二〇〇	四〇、〇〇〇
サンパウロゴヤス線	二五〇	一〇、〇〇〇
パウリスタ線	三五〇	四〇、〇〇〇
アララクアラ線	六〇〇	一二〇、〇〇〇
ノロエステ線	一、二五〇	三〇〇、〇〇〇
ソロカバナ線	二〇〇	四〇、〇〇〇
イグアツペ植民地	四〇〇	一二五、〇〇〇
其他	八〇	一六、〇〇〇
合計	三、三八〇	五九一、〇〇〇

收穫せる米俵を積んで喜べる米作地に於ける我が同胞にして
本年度日本人の生産米は約八十萬俵を算す

その數字を大河沿岸、チユキア線のそれを合し、更に珈琲園內の生産高を加算するに於ては、本年度日本人の生産米は約八十五萬俵に上り、生産地價格に於て一萬二千コントスに達するのである。

米の相場は地方に依つて相違あり一定せぬ。一般はサンパウロ市場相場に基準するも、地方的需要のためにサンパウロの市價以上に販賣さるゝこともある。四月から八月頃の生産時に安價に十月十一月に入り向騰するを普通とする。戰前平均十ミル內外、戰時中は十五ミルより二十五ミル、三十ミルに向騰したこともあつたが最近に於けるサンパウロ相場は二十ミル見當である。米作者の手取りは袋代停車場迄の馬車代、汽車運賃、商人の手數料等を差引たる殘餘にて、こは處に依り大なる相違あるを普通とする。

僅少な例外を除き、米作地は一般に健康地でないが、大膽無謀な日本人は、どんな不健康地へも勇悍に飛込んで大に働くのだから、從來マラリヤ熱の巢窟として放棄されてゐた、有害不毛の低濕地が日本人が、米作し出してから有益に開拓され、健康地化された實例は可なりに多い。日本人入伯後ブラジルの米作が發達したことは日本人嫌ひな黄色紙でさへ褒めてゐる。

(ハ)棉作、聖州に棉作が一般的に獎勵されたは大正七年に於ける珈琲の大霜害後で米作よりも新しい。日本人が棉を作り出したは大正五年この方のことである。大戰の結果市價常に高く、ために一時日本人間に棉成金が出來たこともあつた。現時は戰時の高價望むべくもないが、尙戰前の三倍である。耕作の比較的容易なると、棉花摘みは女子供にも出來、收穫期間が長いから、勞力を好都合に分配し得て小農者には便利である。且つ同一面積からの收穫高も米作等に比し多く、又本州には本作に好適する土地の極めて豐富な關係から、日本人間に棉作熱は漸次盛んになりつゝある。本年度に於ける日本人全體の生産額は實棉約二十五萬アローバ（一アローバは十五キロ）に過ぎなかつたが、明年度即ち、この九、十月に植付けた日本人全體の棉作反別は一萬五千町步に達し、平作にて實棉九十アローバを豫期し得る。棉作專門として最も多く日本人の集團してゐるは、第一モンソン殖民地を中心とした四百家族を第一とし、他は州內各方面に散在し、獨立農業者で棉作を主要作物としてゐる者もないではない。而して一町步よりの收量は百アローバを産する處もあるが、五十乃至六十アローバを普通とする。價格は戰前實棉一アローバ四ミル內外戰時二十數ミルに達したこともあつたが、現在は十二ミル內外である。本州に栽培されるは草棉で、當國北部諸州のそれの如く多年性の灌木ではない。北部産の纖維細長なるに比し短くして太いが、色白く光澤ある特色を有してゐる。

聖州政府は珈琲の專門作を不可とし大に棉作を慫慂してゐるが、多數の地主は珈琲の中毒から醒むることを危險なり、不得策なりとして、一向に乘氣にならない。實績の何等見るべきもののなき內に在つて日本人の棉作のみが相當に研究され、改良されつゝあるは吾人の意を强うするに足る。本年四月以來州政府農務省が、棉作害蟲驅除用として賣却した藥品の總量は約二十噸、內十五噸は貧弱な筈の日本人が購入した者なることは、相當に彼等當局者の注意を喚起してゐる。『蟲害あり危險作物此上なし』と手を引くブラジル人が、金かけて、害蟲を退治する日本人の勇氣に驚嘆してゐたことがあつたが、無理からぬことである。

(ニ)馬鈴薯、主としてサンパウロ近郊に借地、肥料栽培で、成績は年次良好、品質優良、外人産に比し一袋數ミル宛高價に取引されてゐる。大正九年度に於ける産額十萬五千袋、價格二千百コントスに上る。

借地料及び步合は、地方に依り、條件に依り、一樣ではない。地主の信用で、只で耕作してゐる者もある。ジユキア線の米作、モンソン植民地附近の棉作地代等は安價な方で、一町に付廿ミルから廿五ミル內外、サンパウロ附近芋作地の借地料は四十ミル乃至六十ミルを普通とする。步合作の步合も前同樣、只から五割迄ある。土地、食料、資本、農具、馬匹等を借るとせば、五割は出さればならぬが三割の處もないではない。

而して慾の皮のつゝ張つた人種が遙々金儲けに來てゐるものなる以上、又地主にとつても謂はゞ捨てゝ置くも同樣な土地なる以上、多くの場合日本人に有利な條件が持ち出される

三、獨立

最初に於ける日本移民の移動は、無暗に珈琲園から四散して市街地の勞働に就くことで、この傾向は大正二年頃迄續いた。その後稍變兆を呈して移動は主に珈琲園間に限られ、著しく市街地に出づる者の數を減じた當時は、今日の如く殖民地熱は勿論のこと、米熱、棉熱、芋熱なるものがなかつた。只大正一年には聯邦政府の第一モンソンに、同二年には州立の現朝日植民地に入殖した者があつた。大正三年には聖市近郊に熊本縣人の團體が土地を共同購入して、今日のチユケリー植民地の基礎を固めたを最初とし、大正四年には福島耕地、東京耕地、バルボーザ殖民地自由植民地等日本人で土地を購入する者增加して來た。稍大規模に創設され、日本人の植民事業に新紀元を開いたは故平野運平氏の平野殖民地で、同じく大正四年であつた。戰亂が故國の農民を成金にしたと同樣な理由で、伯國在住の日本人も有福になつた。大正五年以後の土地購入熱殖民地熱は一種の熱病の如く流行して、大小數十の植民地が創設された。ビリグ井殖民地は外國人の經營してゐる殖民地に、日本人の四百家族が集團入植した大きな植民地で、イタコロミーは日本人の創設經營する者約二百五十家族の植民者を包容してゐる。他は二十、三十、五十內外の植民團體が州內の處女地帶に土地を購入した者で、その數三十に達する。即ち前記諸植民地の外、福壽、ガルサ、ドラドン、香川、ボアビスタ、バラグランデ、梅辨、ブレチヨン、ボーアソルテ、東洋、萬歲、リオブランコ等名前は色々あるが、孰れも創立日尙ほ淺く充分な發展を見てないだけは同一である。而して此等の中には既に地代を完納して地劵を得た者、目下年賦拂込中の者等あつて一樣でないが、日本人の土地所有者數及びその面積を鐵道線別にすれば

方面別	所有家族數	所有面積
	家族	町
パウリスタ線	六〇	五〇〇
アララクアラ線	一二六	二、〇二四
ドラデンセ線	五〇	四五〇
ノロエステ線	八五三	二七、九五五
ソロカバナ線	四〇〇	一〇、〇〇〇
チユキア線	一〇〇	九、五〇〇
聖市附近其他	一〇〇	九〇〇
イグアツペ植民地	五〇〇	一四、九五七
合計	二、一八九	六六、二八六

即ち土地所有者は二千百八十九家族にして、面積は六萬六千二百八十六町に達し、一家族の所有面積約三十町である。而して最も多きは二十四町步內外の土地所有者にして、五十町步、百町步、の地主も亦尠なからず。更に大として二百四十町步を有する者も十數を數ふ。而して前記の數字は主として個人的日本人植民者のみの土地面積を示したるものにて尙ほ此外海外興業會社のイグアツペ植民地に現有する八千五百町步と、同社のアニユーマス農場の千二百町步合計九千七百町步を加算する時は現在聖州に於ける日本人の土地所有面積は約七萬六千町步に達して居る

僅少な例外を除き此等の植民地はサンパウロ市を距る五百乃至八百基米突內外の、ノロエステ線、ソロカバナ線、アララクアラ線等處女林地帶に位置するを以て、生産物販賣上の不利は免かれないが、地價の他地方に比し極めて安價なる利益はある。地價はサンパウロ市場との遠近、最近驛への距離の大小、道路の有無良否、地味の上下其他の理由で高低あつて一定しないが、從來日本人の購入したのは一町十五六ミル、廿ミルから百五十ミル迄で、六七十ミル見當が一番多い。主要作物も植民地所在の氣候、地勢、地味、各人の希望等に依つて相違がある。今日の處、珈琲を主要作物とする者多數を占め、單にノロエステ線だけにても約八十萬本の珈琲がある。植民地で養蠶を試驗中の特志家もある。

植民地の衛生狀態は漸次良好に向ひつゝある。ビリグ井、イタコロミー植民地には日本醫師もゐる。植民地の自治はまだいふに足らぬ。子弟の教育はイグアツペ、ビリグ井等の大植民地は全然此國の教育で、州政府任命の教員これに當り、他は多く日本の小學教育を授けてゐる。學校設備のまだ出來ない殖民地も數尠くない。

大小植民地各個につき、各種の統計を數字的に表示することは極めて興味あることゝ思ふも、現在の處日本人植民地は創設期に屬するもの多く萬事渾沌狀態に在り、精確な材料なきを以てこれをやめ、只海外興業會社の經營たるイグアツペ植民地の內容を單簡に記述するならば、同植民地は從來伯剌西爾拓殖會社の事業なりしを、昨大正八年前記海外興業會社の經營に移したもので、リベイラ河岸に位し、道路、學校、醫藥、農事試驗所、精米、製糖所、製材所等植民地として設備の完備しある州內諸所に散在する他植民地に一步進めたもので、植民は主として直接日本より渡伯入植した者多く、米は從來同植民地の主要作物であつたが、最近にいたり、甘蔗これに代り、現在に於ける甘蔗植付面積は千町步に達し、明年度の砂糖生産額は三萬五千袋の豫想である。今同植民地發達の現況を表示すれば

◆イグアツペ植民地現況

年次	家族數	人口	出生	死亡	植民占有地區數	植民所有土地面積	道路延長	收穫物總價格
大正四年	29	121	17	5	25	575	5	22:567$
同　五年	31	138	12	1	26	600	5	75:850$
同　六年	61	271	27	4	55	1.325	31	108:611$
同　七年	287	1.125	32	10	308	8.204	78	146:250$
同　八年	431	1.846	97	35	474	11.816	128	526:343$
同　九年	524	2.329	133	32	572	14.956	133	843:632$

摘要　本調査は毎年七月三十一日現在とす

出生 318 — 死亡 87—231

植民地全面積 22.377町

1. 州政府より寄附 13.806町
2. イグアツペ興業 859町
3. 同社土地買收 7.712町

以上は聖州日本人農業狀態のほんの一般に過ぎない。ブラジル農業の利は天惠の極めて豐かなことである。時に霜害、蝗蟲の害、水害等なきにあらねど、それは日本の農業等に比し甚だ少ない。素人でも農業するの意志と氣力と體力だにあらば、此國の農業は決して六ケ敷いものでなく、誰れにでも出來、その收入も故國農民に比し甚だ豐かなものがある。土地甚だ廣きを以て、日本人の土地所有問題なぞは近い將來には起りそうもない。前にもいふた如く珈琲を除いた聖州の農業現況は甚だ貧弱なのである、日本の農民がどん〳〵渡伯して、農業に基礎を置き、吾々日本人の優れたる農業上の頭腦と、經驗とを以て、本州の未開地を拓き、經濟的に農業を經營することは、吾々日本人のためにも亦伯國發展のためにも。大に慶賀すべきことである。

◎東京電報

●日本に於ける外國人土地所有權

（東京發電）

東京日々新聞の報ずる處に據れば、政府は外國人に對し帝國領土內に於て國防上に必要なる地帶以外の土地の所有權を許與する新法律案を次期議會に提出する意嚮なりと

●渾春事件と支那政府の回答

（東京發電）

先般渾春に於ける、支那暴徒の日本人虐殺及び日本領事館燒打事件に關する日本政府の提議に對し、北京政府は現下の秩序維持の目的のみに日本が同地方に干渉する事に同意するも、今後の擾亂發生の塲合に日本が執るべき處置に就ては又更に商議すべしとの回答書を送れり

●マトグロソ視察の前州統領一行

聖州前統領アルチノ、アランテス氏州上院議員カルロス、ボテーリヨ氏及び伯國農會員數氏はマトグロソ州政府の招待に應じ同地方事情通のロンドン將軍と共に去る二十一日聖市發マトグロソ視察の途に上りたるが旅行日數約六十日の豫定なりと

●外國語教授問題

目下州下院の議題となれる教育法案に關しては議論頗る多く修正案續出の有樣なるが多年州移植民局長たりしフェリス、シントラ氏亦二十三日の會議に於て之を論じ同案に對し種々修正意見を提出したり而して『私立學校に於て十歲以下の兒童に外國語を教授する事を禁ず』る條項に對しては全然之が削除を主張し是れ公民の自由を侵害するのみならず伯國の如く大に外國人の來住を必要とする國に於ては政策上斷じて斯の如き條項を其法律に編入すべからず總ての學校に國語（葡語）の教授を强制するは大に可し然れども十歲以下の兒童に外國語の教授を禁ずる事には贊成し難しと

●總領事館主催のレセプソン

練習艦隊サントス寄航の爲め帝國總領事館にては明二十九日午後三時より六時まで『トリアノン』に於てレセプソンを催ふし艦隊少尉以上百名、伯國官憲、在野の紳士淑女及び主なる在留邦人を招待し艦隊の將校歡迎旁々日伯人の交歡を圖らるゝ趣にて旣に數百通の案內狀を發せられたり

●司令官一行の珈琲園視察

舟越司令官にはサンパウロへ來て珈琲園と邦人の働き振りとを視なければ來た甲斐がないとの熱心なる希望より明廿九日午後七時三分の夜行列車にて將校及び便乘者組み合せの一行廿名と共に『ルス』驛を發しリベイロンプレトに至り翌三十日は『グワタパラ』耕地を視察し其の夜リベイロンに一泊一日朝同所出發車上沿道の珈琲園を眺めつゝ其の夜サントスに歸艦せらるゝ由なるが尙ほ聞く所に依れば歡迎團側よりの案內者の外藤田總領事並に青柳海外興業重役も司令官と同行せらるべしと

●將校一行ジュキア案內

歡迎團側にては約二、三十名の兩艦將校を十二月一日にジュキア線に案內し同沿線に於ける同胞發展の模樣を紹介する由なるが斯は司令官のリベイロン視察と相俟て歡迎行事中最も有益なるものゝ一なるべし

●拜艦時間

練習艦隊淺間、磐手の兩艦は今廿八日サントスに入港左の時間割を以て公衆に拜艦を許さるゝ由なれば出來るだけ靜肅に叮嚀に紳士淑女の態度を持して拜艦するが良かるべし

▲十一月廿九日（自午前九時至同十一時）淺間、磐手共（自午後一時至同　四時）
▲十一月三十日　右に同じ
▲十二月一日　右に同じ
▲十二月二日（自午前九時至同十一時）磐手だけ（自午後一時至同　四時）

尙ほ廿八日入港當日の拜艦は歡迎團委員より目下伺ひ中なるも本稿締切までは明瞭せざりき

●我が練習艦隊の入港は本日

一日千秋の思を以て待ちに待ちたる我が練習艦隊は本日午前八時サントス港口に着し滿潮時間を待ちて入港するとのことなれば港內投錨は午前十一時頃なるべし

●軍艦のアットホーム

十二月三日を以てサントスを拔錨する我が練習艦隊は十二月二日內外人主なる人々を招待し軍艦上に於てアトホームを催ふさるゝ由なるが此の日は定めし出席者多かるべし

●練習艦隊附の軍樂隊招聘

永年の宿望茲に達して我が海軍練習艦隊を迎ふるの光榮を荷ふた吾々は如何に之を善用するかが固より考慮せねばならぬことなるが其の善用の一こして幕僚附軍樂隊を招聘し公衆一般に西洋式の日本音樂を紹介して日本文化の度を知らしむるも慥かに其の目的を達する方法の一つにして吾人は委員諸君の爰に心付きしを大に多とするものである今ま其の塲所と時間割を示せば左の如くである

明二十九日夜八時よりテアトルムニシパル前の廣塲に於て奏樂

●團體拜艦者に對し鐵道切符の割引

練習艦隊歡迎團委員より鐵道會社へ交渉の結果十一月卅日、十二月一日二日の三日間に限り廿五人以上の團體にて拜艦に赴く人々に對してはサンパウロサントス間一二等共汽車賃半額の割引を爲すことゝなりたりと但し割引申込は發車時刻一時間前でなければならぬと共に日歸り往復者に限るとのこと

●酒は過ちの源

舟越司令官より『酒は兎角過ちを惹起し易いから艦隊乘組員歡迎の際には酒を嚴禁して貰ひたい』との注意があつたので歡迎團委員側でも其の意を體してサントスの下士以下歡迎には一切酒を用ひぬことにしたさうであるが之は唯に歡迎會塲のみでなく何れの塲所に於ても酒の爲めに帝國軍人の面目を害ふ樣なことのないやうにするが歡迎者たる吾々の責任であるから吳れぐも注意ありたし

●練習艦隊歡迎の順序確定

去る廿日午前八時リオ入港の我が海軍練習艦隊を迎へ舟越司令官に祝意を表し旁々プログラムの打合せの爲めリオへ赴ける山田、三吉の兩委員は廿日廿一日の兩日に亘り總ての打合せを了へ廿二日朝歸聖されたるが其の確定順序は左の如くである

▲●●●●●サンパウロ市にては　少尉候補生以上（便乘者六名を含む）三百卅名を明廿九日（艦隊のリオ碇泊一日延びし爲め聖市及びサントスの歡迎豫定案は一日繰り下げとなる）午前五時四十五分サントス發の列車にて八時十分『ルス』驛着を迎へ直に同驛附近の兵營を案內し次で

▲自動車七十臺を連ねて　市中目拔の塲所を車上案內を爲しつゝ『ブータンタン』に至り毒蛇研究の模樣及び其の附近藥草栽培の現狀を見せ更に自動車を引き返して別途市內繁華な塲所を過ぎ正午少し前に『アクリマソン』公園は歡迎會の式塲に着し

▲正午十二時より三時迄　に總て諸式を行ひ其れより少尉以上を總領事館催しの『レセプション』へ送り、少尉候補生を自動車にて移民收容所へ案內したる後『ルス』驛に至り、爰に少尉以上の來着を待ち受け共に午後六時廿五分の列車にてサントスへ歸艦するの順序となる

▲●●●●●サントス市にては廿九日午後一時より五時まで下士以下半舷を市內及び近郊を案內し次いで『ミラマール』に於て茶菓を饗し翌卅日午前八時頃より正午頃まで前日同樣下士以下殘りの半舷を市內及び近郊を案內して『ミラマール』にて茶菓の餐を爲すことに定まれるが尙ほ此の外下士以下總員へは歡迎團より活動寫眞の無料入塲劵を進呈する

▲又同卅日の午後五時頃より九時頃まで小尉候補生以上を市內及び附近の主なる塲所に案內したる後『ミラマール』に於て歡迎の宴を張ることに決定せり尙ほ又艦隊出迎艇は豫定の通り出迎者を乘艇し廿八日午前九時波止塲を發し港口にて艦隊を迎へ滿潮を待つて共に港內に入ることゝなるべければ出迎者は九時前に出迎艇に乘込むやう注意あるべしとのこと、又當日艦隊入港の際には日本烟花を打揭げ其の入港を更に一層壯ならしむる計畫なりと云ふ

●本紙贈呈に就て

本社は艦隊歡迎の微意を表せんが爲め極めて正確にして嶄新なる材料に基き聖州發達の一般を叙し獨力之を發行し艦隊に本紙千七百部を贈呈せり

●練習艦隊來る

＝朝霧を破つて雄姿見ゆ＝

■リオ通信■

二十日午前八時リオに入港の豫報あつた我が練習艦隊磐手、淺間の兩艦は豫報に違へずキッチリ八時にリオの入口に雄姿を現はした、在留民の出迎船は萬國旗を以て裝飾を施し鳴物入の大歡迎『萬歲』を高唱すれば軍艦側亦之に答へ秒一秒港內目懸けて進みつゝ今や砲臺前に懸ると見るや旗艦磐手は伯國に向つて廿一發の禮砲を發し、次で淺間亦之に倣へば伯國砲臺は之に答へ、海波爲めに踊るの快ありたるが、八時半愈々投錨すれば豫て選ばれた伯國海軍の司令官接待員等が堀口公使と同道小蒸汽艇にて旗艦磐手に乘りつくれば在留民出迎一行も亦大野委員長を先頭に移乘した、灰色の二本マスト艦尾には旭日旗翩翻と飜りて勇ましく一種の懷情を覺へしめた（つゞく）

●正誤　本紙十面三段四十六行目の實棉九十アローバは九十萬アローバの活字誤植に付き訂正す

謹告

拜啓益々御淸祥奉慶賀候偖而練習艦隊『サントス』寄港の順序左の如く相成候

▲十一月廿八日午前八時頃『サントス』港外着、午前十時ヨリ午後二時頃迄の間に滿潮時を待つて入港
▲十一月廿九日、卅日、十二月一日、二日の四日間『サントス』港碇泊十二月三日同港拔錨

右謹告候也
大正九年十一月廿五日
練習艦隊歡迎團

謹告

拜啓益々御淸祥奉慶賀候偖而練習艦隊乘組員諸君を『サンパウロ』及び『サントス』兩市に於て左の如く歡迎可致候

▲サンパウロ市
一、廿九日午前八時十分より少尉候補生以上を兵營及びブータンタンに案內
二、同日正午より午後三時まで『アックリマソン』公園に於て歡迎會を催し少尉候補生以上を歡迎（行事の內容は豫て謹告の通り）

▲サントス市
一、廿九日午後一時より五時までの間に下士以下半舷を市內案內續いて『ミラマール』に於て茶菓を饗す
二、三十日（A）午前八時より正午まで前日の順序にて下士以下半舷を饗す（B）午後五時より九時まで少尉候補生以上を市內案內續いて『ミラマール』に於て豫て謹告の通り歡迎の意を表す

右謹告候也
大正九年十一月廿五日
練習艦隊歡迎團

廣告

今般都合に依り長男辰義、二男富義同伴最近便土佐丸にて歸國豫定に付御用の方は左記宛御一報願上候

大正九年十一月十五日
クレシウマ驛サランヂー耕地
和歌山縣人　山本若左之助
妻　山本スミヱ

土地賣却

ノロエステ線及ソロカバナ線の最優良耕作適地を日本人諸君に一ロッテ二十五ミル以上の安價にて賣却す、地區割終了せり即時拂及年賦拂何れにても宜し御希望の諸君は葡文又は日本文にて左記へ至急御申込ありたし

Dr. Labieno da Costa Machado
Rua B. de Itapetininga, 13-A
S. Paulo.

開店廣告

今般上記の處に開店し日本人各位には特に廉價に新流行型男女服調製可申上候

カザ、アロイゼ

Casa Aloise
Alfaiataria
Rua Liberdade, 53
Tel. Central, 3844

廣告

今般嶺昌氏を招聘し當地方在留日本人諸君には精々御便宜相計可申候此段廣告候也

十一月廿七日
カタンヅーバ銀行
Banco de Catanduva
Est. Catanduva
L. Araraquarense

小生儀今般都合に依りカタンヅーバ市に移轉致候間此段辱知諸兄へ廣告仕候也

十一月廿七日
嶺昌

廣告

最近土佐丸便渡來の左記被呼寄人へ對し便宜取計上都合有之候間呼寄人は至急氏名及現住所を明記し御通知有之度候也

在サンパウロ
伯剌西爾移民組合支部

▲廣島縣　畑中弘男、畑中正三、米田里見、田中數夫、田中春吉
▲山口縣、善本ミ子
▲高知縣、松本三代吉、松本駒井、松本榮、松本政春、弘田米壽、弘田澤衛、高橋直樹、伊藤安衛
▲秋田縣、大塲倉治
▲福島縣、丹野武
▲滋賀縣、平居房太郎
▲熊本縣、上村笠記、岡本八太郎、岡本直、園田郡藏
▲石川縣、上出喜野
▲福岡縣、草野マスミ、上野アサヱ
▲北海道、武田廣
▲青森縣、對島健吉
▲愛知縣、堀田敏男
▲沖繩縣、宮城清輝、新田宗寛、比嘉武太、大城牛助、比嘉蒲吉、神山親、宮城源俊、與那嶺重吉、松田平昌、幸地廣、宮城五郎、島袋新幸、具志堅古助、野原次郎、眞境名正範、野原幸榮、野原龜太郎、松田加那、宮城マツ、後純內カナ、山城眞佐、親川松助、崎原恒松、安里加那助、宮城太郎、仲村嘉平、屋比久源光、宮平カマト、宮平市直、源河豐正、大城カメ
▲和歌山縣、泉龍藏

日本人諸君に對しては特に懇切に一切の法律事務の御相談に應じます

辯護士　ジョアキン、デルフィノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所　總領事館同建物四階十四號室

Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
Largo da Sé No. 3, 3°. andar
Sala 14
S. Paulo

28 de Novembro de 1920 No. 164 Noticias do Brazil 大正九年十一月廿八日　日曜日　第百六十四號

Homenagem aos Bravos Marinheiros

國交親善

△軍艦に負ふ所多し▽

今日の世の中では、母國を去り他國に移住するの自由を、天賦人權の一端なりとして、國際法學者の殆ど總てが承認する所である、而して其の理由とする所は、土地の貧瘠、寒暑の嚴烈、人口夥多の結果として、自國内に於て生活の安全を得難い塲合は生活の更に平易なる國土を求めて、其處に移住するは、人間當然の權利であり、自由でなくてはならぬと云ふのである。

無論さう無くてはならぬ、何せならば、領土的野心を抱いて他國へ出懸て往くとか、私利壟斷主義で他を害すとか云ふならば、是れ固より戰を挑むもので、宜しからずであるが當方から勞力を提供し、資本を放下して未開の地を拓き、平和的經濟關係で自他の利益を增し、人類の幸福を進むるは、惡いどころか、却つて之を獎勵すべきが至當であるからである。

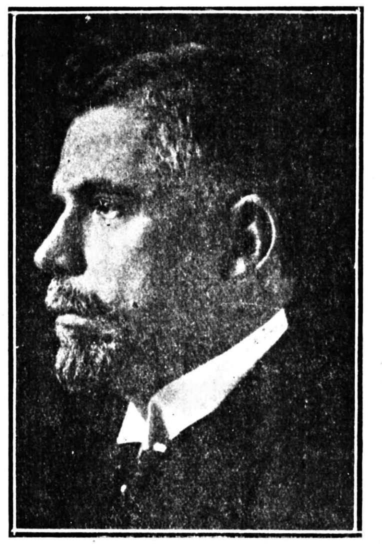
然るに地球の表面幾多の國を造り互ひに境界を設けて自我を貫かんとする處から、自然其處に偏見なるもの生じて自他を區別し、自國人を他國に出す塲合は天賦人權說を採るに反し、他國人を自國に入れる塲合は其處に種々な制限の附せらるゝを見るのであるが、是れ畢竟排外思想から起る我儘で、現在北米合衆國や、英領諸殖民地に行はるゝ排日問題は即ち其の一例である。

尤も一說には、移住の自由は、其の去らんとする母國に對してのみ自由であつて、新たに居住せんとする國に對する權利でないから、若し入國を拒まれる塲合は爭ふの餘地が無いと云ふのであるが、移住の自由は已に天賦の權でありとすれば、去るのも自由であり、入るのも自由であると云はねばならぬ、殊に互惠條約を締結して平等の國柄たるを承認する以上は、相手の國人に特種の缺陷無き限り、之を排斥するは理不盡ではあるまいか。

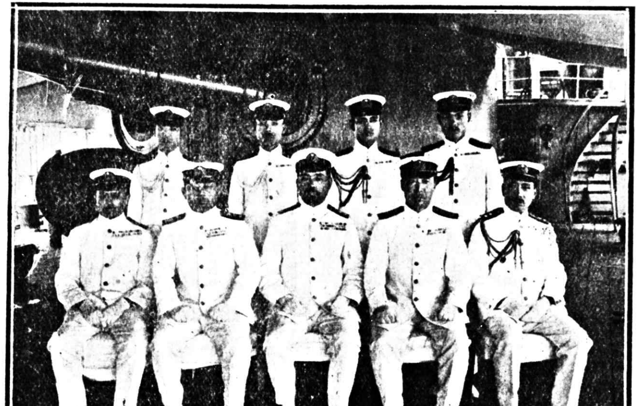
喜ぶべし伯國は、英、米等より排斥の厄を被る吾々日本人に對し、眞に友朋なり、共同者なりとして、衷心吾々同胞の入國を歡迎する中にも今回我が練習艦隊來伯に付き、本社が『特別號』を發刊して、艦隊乘組總員へ『時報』贈呈の擧に對し、聯邦大統領並に聖州統領より種々の便を與へられ、且つ自から署名せる寫眞の登載を許して、練習艦隊歡迎の意を表せられたるは、如何に伯國が吾々に好感を有するかを窺ひ知ることが出來るのである。

然れども吾々は之を以て滿足してはならぬと思ふ、何せならば、伯國の日本に對する好感は、好感は即ち好感なれども、其の間尙ほ不了解の點決して尠なしとせぬ、故に吾々は今後一層の努力と注意とを以て、此の好感を更に尊敬を得るの域まで進めねばならぬからである、適ま好し今回我が練習艦隊の來伯は、吾々の日夜熱望する日伯親善の上に、更に一段の深厚を加へたものであるから吾々は此の艦隊の恩澤に對し滿腔の謝意を表するものである。

伯國聯邦大統領
エピタシオ　ペッソーア閣下



聖州統領
ワシントン　ルイス閣下



先任參謀吉田中佐
參謀阿部大尉
淺間艦長小山田大佐
參謀片山機關少佐
司令官舟越中將
副官江頭少佐
磐手艦長鳥崎大佐
副官中村大尉
艦隊機關長山下機關大佐

●伯國に於ける將來のセメント製造業

近時伯國の經濟的發展は都市の繁榮を促し從つて道路の改修、家屋の新築、電柱の增設等に使用するセメントも夥しきものであるが、伯國には未た之が製造工場のない爲全部外國からの輸入に仰いで居る、然るに大戰勃發以來英國、白耳義は其製造高減少した上運輸困難となつた爲輸入激減市價暴騰した、而して大戰は終熄したけれども依然としてセメントは拂底の有樣で近く市價の低落は望み難い、於茲セメント工場設立の聲伯國内に起り當局者は實業家工業家と共に之が研究調査を進めて居る伯國特に聖州に於てセメント製造業可能なりや、又可能なりとしても外國品と競爭して行けるや否やに就て吾人誠に之を調べて見れば、セメント製造に要する原料たるは石灰及び陶土、動力を起すべき燃料たる石炭又は水力又は之に代るべき燃料、熔爐に使用する燃料及び技術者の四であるが、原料たる石灰及陶土は聖州各地に豐富に存在する、動力は一日（十時間）百噸のセメントを製するに五百馬力を要し其燃料にカーヂフ炭九乃至十噸或は薪木の優良なるものにて六十乃至七十立方米突を要するカーヂフ炭は輸入困難なるを以て到底需要を充す事は出來ないが伯國は森林到る處にあるので薪木は容易に得られる、其價格一立方米突六釬とすれば三百六十ミル乃至四百二十釬である、然るに伯國には利用すべき水力夥多なるを以て動力に電力を使用すれば百三十ミル以下で足りる、現今獨逸、佛國、白耳義等では五百馬力に三百ミルレースを要するから動力の點に於ては伯國が廉價である熔爐に使用する燃料は重量にしてセメントの二割乃至四割である、伯國炭は質劣惡なるを以て熔爐用に適しないが外國炭を使用しては生産費高くて引合はない、然るに露國及瑞典に於ては木炭を使用して品質優良なるセメントを製造して居るから森林に富む伯國に於ては木炭を使用する方遙かに利益である。

次に要するは技術者であるが、伯國に於て之を求むるは不可能ならむも歐洲より招聘するは敢て難事でない、偖て以上の諸條件完備し、伯國に於て製造したセメントと外國品との競爭起つた場合を考へるに、現今の高價を以てすれば容易に內國製勝を制するが一旦戰前の價格に復したる時は果して如何あるべきか、之に對して吾人は內國製の強味たる左の三點が熔爐用燃料の高價を補つて充分競爭に堪え得ると思ふ。

第一、外國製は百八十キロ入一樽に付二ミルレース乃至三ミルレースの運賃を要す

第二、外國製は一樽に付五ミルレース乃至六ミルレースの關税を拂はざる可らず

第三、伯國は水力夥多なれば便利にして安價なる動力を使用し得。

亞爾然丁及ウルグワイ兩國の燃料の缺乏は伯國以上にして且つ利用すべき水力乏しきに拘らず尚二箇の大工場は好成績を擧げつゝある、伯國に於けるセメント製造業の將來は極めて有望である。

蓋し伯國は天惠の豐なる原料國で、資本と勞力とを加ふれば如何なる物でも造り出すことが出來ると云ふも過言ではないから、茲にセメントの有望なるを說けるは、是まで外國より輸入せる品物でも資本さへ有れば容易に生産し得ると云ふ一例を示したに過ぎぬ、其の證據には大戰後歐洲諸國が物資に缺乏して生活に困難し出してから、皆一齊に伯國に着眼して、物資の供給を依賴し來るのを見ても明かである。

●伯國に關する數字

（野田公使館二等書記官調査）

面積	三百二十七萬五千五百十方哩
東西	二千七百〇三哩
南北	二千六百五十八哩
人口	凡二千八百萬人
首府人口	凡百萬人
自一八二〇年至一九一九年移民入國數累計	三百五十七萬六千二百七十五名
最近一年間移民入國數（一九一九年）	三萬七千八百九十八名
州數	二十州（外に一聯邦府及一直轄州あり）
國會議員數	上院 六十三名 下院 二百十二名
內閣省數	七省（司法內務、遞信工部、外務、陸軍、海軍、大藏、農工商務）
歲入豫算（一九二〇年）	金貨 一二九、四三三、九四九ミル 紙幣 五二四、二五八、二〇〇ミル
歲出豫算（同上）	金貨 七三、三七三、三三六ミル 紙幣 五九九、五七八、五六四ミル
歲入實收額（一九一九）	金貨 八六、三六七、八五七ミル 紙幣 四四四、五六四、六九六ミル
內債（一九一九年末）	紙幣 一、〇四三、三五〇、六〇〇ミル
外債（同上）	英貨 一〇三、三九二、〇三四磅 佛貨 三三三、三四〇、五〇〇法
政府紙幣流通高（同上）	一、七二九、〇六一、五三三ミル
外國貿易額（一九一九年）	輸出 一三〇、〇八五、〇〇〇磅 輸入 七八、一四四、〇〇〇磅 出超 五二、九〇一、〇〇〇磅
リオ港外國貿易額（同年）	輸入 三五、九九四、一八五磅 輸出 三、〇四六、八九四磅
備考	サントス港輸入額はリオ港輸入額の三分の二、輸出額は其の三倍
日伯貿易額（同年）	日本より輸入 五〇〇、六三四磅 伯國より輸出 二〇、〇〇〇磅
商船現在（一九二〇年四月）	六百四十二隻 四十五萬九百十九噸
鐵道延長（一九一九年三月末）	一萬八千七百五哩
リオ、サンパウロ間距離	三百〇九哩半
サントス、サンパウロ間距離	四十九哩
リオ、ベロオリゾンテ間距離	中央鐵道にて 三百七十六哩